

B&G全国サミット

B&G全国教育長会議

B&G全国指導者会 記念総会

2022年度 報告書

- 第15回「**B&G**全国サミット」(2023.1.24)
地域共創 ～B&G 50th～
- 第19回「**B&G**全国教育長会議」(2022.11.9)
これからの学校教育
～学校と地域の視点から見る課題解決～
- 第5回「**B&G**全国指導者会 記念総会」(2023.2.3-2.4)

目次

第15回「B&G全国サミット」

第15回「B&G全国サミット」概要	2
主催者挨拶	4
基調講演「多様性に溢れた寛容な地域づくり」	5
パネルディスカッション「地域活性化に向けた取り組み事例」	7
B&G財団の取り組み	9
第15回「B&G全国サミット」共同宣言	12
優良海洋センター表彰	13
20年・10年連続「特A」表彰を受賞して	14
「特A評価」海洋センター一覧	16
「A評価」海洋センター一覧	17
2021年度海洋センター評価について	18
自治体PRブース	19
出席市町村長一覧	20
第15回「B&G全国サミット」アンケート集計結果	31
第15回「B&G全国サミット」を終えて（正副会長、参加首長、副首長、教育長等の感想）	32

第19回「B&G全国教育長会議」

第19回「B&G全国教育長会議」概要	42
主催者挨拶	44
基調講演「今後の公教育の未来について～広島県の「学びの変革」の取り組みから～」	45
教育長事例発表	46
文部科学省の取り組み	47
第19回「B&G全国教育長会議」提言	48
第19回「B&G全国教育長会議」アンケート集計結果	49
第19回「B&G全国教育長会議」を終えて（参加教育長の感想）	50

第5回「B&G全国指導者会 記念総会」

第5回「B&G全国指導者会 記念総会」開催概要	54
ご挨拶	55
設立経緯、活動報告	56
ビジョン、基本方針、活動目標	57
組織体制	58
日本財団 笹川会長褒賞、優良指導員・優良指導者会褒賞	59

第15回 「B&G全国サミット」

2023.1.24 (火)

地域共創 ~B&G 50th~

■ 第15回「B&G全国サミット」概要

地域共創～B&G 50th～

355自治体から、254名の首長をはじめ、副首長・教育長など757名が出席！

2023年1月24日（火）、東京都江東区の東京ビッグサイト 会議棟 国際会議場において「第15回B&G全国サミット」を開催いたしました。海洋センターが所在する全386市町村のうち、45道府県、355市町村から254名の市町村長をはじめ、副市町村長、教育長などコロナ禍ではあるものの711名が出席。来賓、ポートルース関係各位、マスコミ各社を含めると、計757名の来場を数えました。

キーワードは「ひとがあつまるまちづくり」。移住を促進し、活気あるまちづくりを。

今回は、「地域共創～B&G 50th～」をテーマに開催しました。

はじめに任期が終了していた「B&G全国サミット」の正副会長を選任。新型コロナの状況を踏まえ、混乱を避けるため一年限りの再任とし、岐阜県中津川市の青山市長を会長とした新体制が発足しました。

続いて福岡県福津市津屋崎 津屋崎ランチLLP 代表 山口 寛氏より「多様性に溢れた寛容な地域づくり～福津市津屋崎での空き家活用と人口増加の取り組み～」をテーマに自治体からの目線ではない民間の目線から移住についての基調講演をいただきました。

その後、コーヒブレイクを挟み、第二部を開始。第二部はB&G財団の5か年計画の発表から始まり、これからのB&Gが目指す方向について参加された首長・教育長へ説明をいたしました。また、B&G指導者への理解を深めていただくため、B&G全国指導者会 会長 青森県南部町 工藤町長に指導者の重要性についてお話いただきました。

「地域活性化に向けた取り組み事例」と題したパネルディスカッションでは、北海道下川町 谷町長、岐阜県可児市 富田市長、島根県雲南市 石飛市長が登壇し、地域資源を活かした地域活性化の取り組みを紹介しました。

さらに、今回新たに「地域共創」が「共同宣言」として採択されるなど、全国のB&Gネットワークの絆を深める会議となりました。

出席者の内訳

大 別	区 分	人 数
海洋センター関係	首 長	254名
	副 首 長	27名
	教 育 長	182名
	代 理	29名
	随 行	219名
その他	来 賓	11名
	報道関係	35名
合計		757名

第15回「B&G全国サミット」次第 日時：2023年1月24日（火）14：00～17：10
 場所：東京ビッグサイト 会議棟 国際会議場

内 容	
開 会	
【第一部】 1. 主催者挨拶 2. 来賓挨拶 3. 来賓紹介 4. 全国サミット正副会長の選任 5. 基調講演 「多様性に溢れた寛容な地域づくり～福津市津屋崎での空き家活用と人口増加の取り組み～」 津屋崎ランチLLP 代表 山口 覚 様	B&G財団 会長 前田 康吉 日本財団 理事長 尾形 武寿 様
コーヒーブレイク	
【第二部】 6. B&G事業紹介 7. 全国指導者会からの連絡事項 B&G全国指導者会 会長 青森県南部町 町長 工藤 祐直 様	
8. パネルディスカッション「地域活性化に向けた取り組み事例」 北海道下川町 町長 谷 一之 様 岐阜県可児市 市長 富田 成輝 様 島根県雲南市 市長 石飛 厚志 様	
9. 優良センター表彰 ・10年連続特A表彰 ・20年連続特A表彰	
10. B&G全国サミット共同宣言	
閉 会	



■ 主催者挨拶



「第15回B&G全国サミット」の開催にあたり

B&G財団 会長 前田 康吉

本日は、第15回「B&G全国サミット」を開催いたしましたところ、公務ご多忙のなか、全国386の海洋センター所在自治体から、250人を超える市・町・村長をはじめ、副首長や教育長など、700人もの皆様にご列席を賜りました。主催者を代表し心より厚くお礼申し上げます。

また、ご来賓として、日ごろからB&G財団に多大なご支援をいただいております日本財団、ボートレース関係団体の皆様にもご臨席を賜り、重ねて厚くお礼申し上げます。

さて、「新型コロナウイルス」感染拡大の影響により、3年ぶりの開催となる、今回の「B&G全国サミット」のテーマは、「地域共創～B&G 50th～」でございます。

このテーマは、自治体が抱える様々な課題に対応し、持続可能な地域社会を実現するためには、産学官民の協力は基より、全国のB&Gネットワークの更なる連携が不可欠であることから決定いたしました。

また、本年3月、皆様方の長年のご理解とご協力によりB&G財団は設立50周年を迎える運びとなり、更なる自治体・地域の発展のため、多岐に渡る諸事業を全力で邁進していく決意を表わしたのもでございます。

会議においては「地域共創」に係わる基調講演をはじめ、自治体での地域活性化事例を市・町長から発表をいただきます。また、B&G財団の今後の中長期計画の説明も行わせていただきます。

なお、今回は、社会情勢に配慮して、懇親会は実施いたしません。代わりに「コーヒープレイク」を設けておりますので、参加者の皆様には積極的な情報交換をお願いいたします。

おわりに、当財団は、これまで以上に、地域と地域で暮らす人々のために様々な社会問題に取り組んでまいりております。本日ご出席の皆様には、引き続きのご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

B&G 全国サミット会長・副会長の選任について

現在、任期延長し就任いただいている全国サミット会長・副会長の任期が2023年1月23日（第15回全国サミットのの前日まで）となっております。そこで、本サミットにおきまして、正副会長の選任をいたします。

任期について

現任期：2018年1月24日～2023年1月23日（第15回サミット開催日の前日まで）

改任期：2023年1月24日～2024年1月22日（第16回サミット開催日の前日まで）

B&G全国サミット会議規則（一部抜粋）

（役員）

第4条 サミットを円滑に推進するため、次の役員を置き、首長をもってこれにあてる。

会長 1名、副会長 若干名、その他役員 必要に応じ別に定める

5 サミットの役員の任期は原則3年とする。但し、再任を妨げない

B&G全国サミット正副会長【任期 2024年1月22日まで】

- | | | | |
|-----|---------|-------|----|
| 会長 | 岐阜県中津川市 | 青山 節児 | 市長 |
| 副会長 | 大分県佐伯市 | 田中 利明 | 市長 |
| 副会長 | 千葉県鋸南町 | 白石 治和 | 町長 |
| 副会長 | 徳島県美波町 | 影治 信良 | 町長 |
| 副会長 | 北海道新篠津村 | 石塚 隆 | 村長 |



■ 基調講演

津屋崎ランチLLP 山口 覚 氏

<プロフィール>

津屋崎ランチLLP代表、LOCAL&DESIGN（株）代表取締役、一般社団法人まち家族代表、慶応義塾大学大学院政策・メディア研究科特任教授、東名館学園長理事



- 1993年、九州芸術工科大学（現九州大学）工芸工学部環境設計学科卒業後、鹿島建設に就職。建築、都市計画プランナーやランドスケープとして活動。仕事を通じて関係者同士、あるいは開発者と住民との間に「対話の重要性」を感じ、学び始める。
- 2005年、生まれ故郷の福岡へ戻り、自治体の総合計画施策や廃校の利活用など、住民参加型の計画策定を行ったり、学校等、使わなくなった公共施設のリノベーションのプロデュースなどをスタート。
- 加えて「対話とファシリテーション」が民間企業、商工会議所、青年会議所、商工会、観光協会、自治体、自治会、農協、組合、寺社などあらゆる分野で求められるようになり、実学から得たノウハウを活用した組織改革、研究、コンサルティング、企業支援、問題解決の合意形成などを行っている。
- 2009年、福岡県福津市津屋崎という海沿いの小さな集落に移住し、創造的交流拠点「津屋崎ランチ」を開設。「本物の生き方、働き方、つながり」を実現するプロジェクトを開始。古民家再生による移住者支援、老若男女の対話の場の提供、起業家育成支援、学校現場への対話の普及、などを行い、この10年で数100名を超える移住者を呼び寄せ、現在も取り組みを継続中。
- 2018年、慶応義塾大学大学院特任教授に就任。協定を結んだ自治体を対象に、公務員のリスキングや理論の社会実装化のプロジェクトなどを進めている。1969年、福岡生まれ。53歳。



多様性に溢れた寛容な地域づくり ～福津市津屋崎での空き家活用と人口増加の取り組み～

福津市津屋崎は、かつて盛んであった塩田が廃止になって以来衰退し、昭和30～50年代の海水浴ブームで復活しましたが、その後、国民宿舎やレジャー施設、西鉄電車が撤退するなどして再び衰退。地域の人は“もうだめかもしれん”と思っているような状況でしたが、今はみんな幸せに暮らしています。2005年の市町村合併以降、人口減少が進行する中、2009年に津屋崎ブランチが設立してからは、人口が増加に転じ、今では合併前を大きく上回りました。

津屋崎ブランチでは、まちの永続を目指し、新しいカタチの地域おこしプロジェクトとして、学習交流、古民家再生、起業支援、移住支援の4つの事業に取り組んできました。

学習交流では、対話の場をまち中につくることを念頭に置き、地域交流会やトークフォークダンスといった交流会を開催し、地域の人が話し合う場、子どもが大人の前で伸び伸びと意見を言える場づくりを進めました。

古民家再生では、「寄付方式」と「家賃前払い方式」の2つの方法で取り組みました。寄付方式の事例として、30年間空き家だった家に7年間の定期借家権を設定。寄付による資金調達を行い、簡易宿泊所として再生しました。家主は金銭的負担がなく、7年後には改築された家が戻ることになります。家賃前払い方式では、12年間の定期借家権を設定。入居者が12年分の家賃相当額を改築費として支払います。火災による消失等、様々な権利的ハードルがあり弁護士に相談しながら実施しました。期間満了後は家主が利用するか、通常の賃貸物件にするかは家主が選択できる仕組みです。

起業支援では、福津市から「福津プチ起業塾」を受託し、月に3～5万円稼げる仕事を伝授する塾を開催。150人を超える卒業生のうち、20人超が実際に起業しています。その一つ、「カフェ&ギャラリー 古小路」は、毎日、店主も屋号も変わる店としてオープン。週に一度だけ働けばいいので、店主をしたい人が主婦を中心に集まりました。来店者は一度訪れると必ず、すべての店（曜日）をはしごするようになり、世界に輸出できるモデルだと評判を呼んでいます。

移住者支援では、移住者が廃屋などを改修して工房や食堂をオープンする際の開設支援や、地元神社での結婚式のプロデュースなども行い、地域に喜びや活気を取り戻す活動に力を入れ、年々、移住者が増加しています。これからも地元の方々と移住してきた方が手を取り合いながら、地域活性化に向けた取り組みを進めていきます。



■ パネルディスカッション「地域活性化に向けた取り組み事例」

【登壇者紹介】



北海道 下川町
町長 谷 一之 様

農業、林業・林産業が基幹産業。夏は30度以上、冬はマイナス30度以下になる年もあるなど寒暖差が大きく、積雪も多い。スキージャンプが盛んで、これまで7名のオリンピック選手を輩出している。



岐阜県 可児市
市長 富田 成輝 様

自然豊かで美濃桃山陶の窯跡や戦国時代の山城跡など歴史、文化の資源が身近にあり、それを守る市民活動も盛んな魅力あふれるまちです。世界的な技術を誇る多くの企業や商業施設は市の経済を支え働く場を提供しています。



島根県 雲南市
市長 石飛 厚志 様

中国山地に抱かれ、「日本桜百選」「日本滝百選」「日本棚田百選」など自然に恵まれ、コウノトリの住む田園風景が広がる。ヤマタノオロチ伝説など出雲神話ゆかりの地や国宝となる古代遺跡がある神話と歴史のまち。

北海道 下川町の取り組み

～持続可能な地域社会の実現～

下川町は、約20年前から、経済・社会・環境の三側面の価値創造、統合的解決に取り組んでおり、豊富な森林資源を最大限活用した「持続可能な地域社会の実現」を目指している。

年間50haの伐採と植林、適正な森林管理を60年サイクルで繰り返す循環型森林経営を基軸に、伐採された木材は、なるべく地域内で様々な形に加工し地域外に流通、枝葉も利用、利用価値の無い林地残材は木質バイオマスボイラーの熱として利用するなど、「森林の恵みを余すことなく」活用する仕組みを構築している。

このような取り組みが評価され、2017年には「第1回ジャパンSDGsアワード」で、最高賞にあたるSDGs推進本部長（内閣総理大臣賞）賞を受賞、2018年にはSDGs未来都市に選定された。

下川町では、町民が主体となり、「2030年における下川町のありたい姿（下川版SDGs）」を策定、町独自で7つのゴールを掲げ、総合計画など主要な行政計画の将来像として位置づけ、まちづくりを進めている。



岐阜県 可児市の取り組み

～住むごち一番・可児～安心・元気・楽しいまち～

可児市は、団地開発によって人口が増加してきたが、平成20年のリーマンショック以後、人口減少が続いた。平成22年の市長就任以来、子育て支援や企業誘致などに積極的に取り組んだ結果、平成26年に人口増加へと転じ国勢調査においても人口増加を続けている。

子育て支援施策としては、平成24年に全国初となる「子どものいじめの防止に関する条例」を制定するとともに、市長部局に「いじめ防止専門委員会」を設置し教育委員会と連携していじめ防止に取り組むほか、可児駅前に子育てワンストップサービスを提供する施設「子育て健康プラザ マーノ」をオープンした。児童生徒数が小学校、中学校ともに県内1位のマンモス校があり、外国籍の小中学生は県内の4分の1を占める状況である。

市への愛着につながる楽しみづくりとして、市内にある戦国時代の山城跡や鎌倉時代の「承久の乱」古戦場跡を活用し「チャンバラ合戦IKUSA」や「全国山城サミット」等のイベントをボランティアの皆さんと一緒に続けており、全国からも多くの方にお越しいただいている。



島根県 雲南市の取り組み

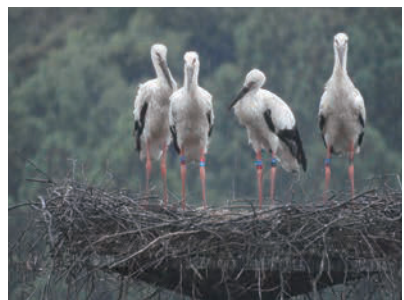
～『ソーシャルチャレンジバレーへの挑戦～

『子ども×若者×大人×企業チャレンジ』による持続可能なまちづくり～』

全国に先駆けて人口減少、高齢化が進む中、課題解決先進地域を目指し、2019年に施行した「雲南市チャレンジ推進条例」に基づき、若者、大人の全世代が地域課題と向き合い、解決するための様々なチャレンジに取り組んでいる。

地域を自らの手で良くしていく「地域自主組織」という名の小規模多機能自治（大人チャレンジ）をベースに、保幼小中高一貫したキャリア教育を基礎にした地域課題の探求活動（子どもチャレンジ）や、「幸雲南塾」を通じた志ある若者たちのつながりの形成と人材育成（若者チャレンジ）を進めている。

また、社会課題解決に関心のある企業と地域が協働し、雲南市の社会課題をともに解決していく「企業チャレンジ」をスタートさせ、雲南市加茂B&G海洋センターや子ども第三の居場所なども活用しながら、子育て環境の充実や健康長寿日本一への取り組み、過疎地域の生活支援等に果敢にチャレンジしている。



■ B&G財団の取り組み

地域 とともに 地域 の発展のために

2023年から5ヶ年計画で「地域活性化と地方創生」に取り組みます。

全国サミットのテーマ“地域共創”の通り、海洋センターの発展には、まず地域の発展が欠かせません。

そこで4th STEPでは、時代の変化や地域の特性に応じて現出する新たな課題に対し、自治体の皆様とともに迅速に課題解決にあたることを目指します。

■ 4th STEP 「地域活性化と地方創生」



子ども・子育て支援

防災と災害復興

海と環境

健康と生きがいづくり

コミュニティ再生とまちづくり

基盤となる指導者養成事業や海洋センター修繕助成事業に加え、

上図にある5つの柱を基軸に、地域における課題から“新時代”に対応した事業を展開し、地域活性化と地方創生を促進します。



MISSION 1

子どもたちの
より良い未来を創り、
見守る。

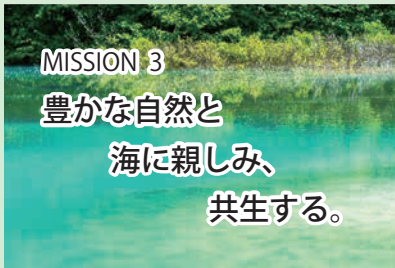
- ①相対的貧困、発達障害、不登校など「困難な子どもたちの支援」
- ②将来の成長に影響を及ぼす「幼児教育」
- ③学校などと連携し、未来の可能性を広げる「キャリア教育」
- ④「外国人児童を対象とする社会教育やスポーツの提供」



MISSION 2

災害から、
地域を守り、
助ける。

- ①現在進めている防災拠点のさらなる拡大「54→100カ所」
- ②健康被害など避難生活などによる「災害関連死対策」
- ③国籍問わず、「誰もが安心安全な暮らしを目指す防災」
- ④多様化する「ジェンダー視点を取り入れた防災」



MISSION 3

豊かな自然と
海に親しみ、
共生する。

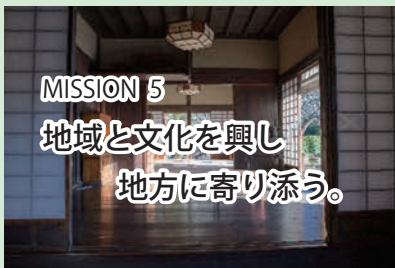
- ①循環する自然を総合的に感じて学ぶ、「海洋教育」
- ②“教訓”や“言い伝え”など「地域民話から学ぶ安全教育」
- ③マイクロプラスチックなど「海洋ゴミの削減」



MISSION 4

幸福と健康を
生み出し、育む。

- ①多世代交流の推進による「高齢者の生きがいづくり」
- ②子どもたちが食を通じて、地域を学ぶ「食育」
- ③現代のストレス社会を生き抜くための「子どものストレス対策」



MISSION 5

地域と文化を興し
地方に寄り添う。

- ①出生率低下に伴う、「少子高齢化と過疎化対策」
- ②地域コミュニティ活性化を図る「空き家活用」
- ③地域の枠組みを超えて、つながりを促進する「交流人口増加」

【お知らせ】 正式名称の変更（2023年4月1日～）

新名称

公益財団法人 **B&G財団**

Recent History

地域力の活用計画（2020～2022）

●テーマ

- ①自然体験を通じて「生きる力」を育む
- ②自然環境を守る心を育てる
- ③自然災害にくじけない地域の絆を創生
- ④「やりがい」を通じて高齢者の健康寿命を延ばす

●内容

- ①自然体験を通じて「生きる力」を育む
 - ▶休眠預金を活用した、障害児などの「自然体験格差解消」
 - ▶子ども第三の居場所の利用児童を対象とする「沖縄海洋体験事業」
 - ▶ひとり親や共働き家庭への子育て支援「BG塾」
- ②自然環境を守る心を育てる
 - ▶「海ごみゼロフェスティバル」
 - ▶「東京運河ごみゼロ カヌーツーリング」
 - ▶漂着ごみ専用ごみ箱「B&G拾い箱」
- ③自然災害にくじけない地域の絆を創生
 - ▶「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築」
 - ▶「モデル事業」防災機材の配備と配備機材を活用した防災コミュニティ（大空町）
- ④「やりがい」を通じて高齢者の健康寿命を延ばす
 - ▶「モデル事業」海洋センターと複合型医療施設が連携した予防医療の拠点整備と健康プログラムの実施（みやき町）



海ごみゼロフェスティバル



東京運河ごみゼロ カヌーツーリング



B&G 拾い箱



BG 塾



モデル事業 健康プログラム(みやき町)



モデル事業 防災コミュニティ(大空町)

■ 「B&G全国サミット」共同宣言

今年で15回目を迎えた「B&G全国サミット」。地域の資源を活かして自治体を活性化させるとともに、近年多発する自然災害に備え、地域住民との連帯を深めていく共同宣言が新たに追加されました。

「B&G全国サミット」共同宣言

- 一. 海洋センターとの連携
- 一. 施設の運営と管理
- 一. 積極的な事業の推進
- 一. 情報・ノウハウの共有
- 一. 環境・防災・水辺の安全教育の推進
- 一. 「東日本大震災」の復旧・復興
- 一. 災害時等における相互応援
- 一. オリジナリティを生かした魅力ある地域づくり
- 一. より強固な連携体制の確立
- 一. 誰もが輝ける地域づくり
- 一. 地域力を活かしたまちづくり

第15回

一. 「地域共創」

B&Gネットワークをはじめ、産学官民の更なる連携協力の基、地域の課題に共に取り組み、持続可能な地域社会の実現を目指そう！

2023年1月24日
海洋センター所在市町村長一同



■ 優良海洋センター表彰

B&G財団では、全国464か所にある海洋センターの現状を把握し、効率的な支援を行うため、年度毎に海洋センターを「特A」から「E」までの6段階で評価を行っています。

2021年度評価（2021年度の活動に基づく評価）において、「特A」評価を獲得した314か所、「A」評価の93か所をご紹介した後、今回新たに10年連続で「特A」評価を獲得した14自治体および、20年連続「特A」評価を獲得した滝川市の代表者にご登壇いただき、表彰状を授与させていただきました。



10年連続「特A」獲得センター所在14自治体



20年連続「特A」獲得センター滝川市

10年連続で「特A」評価を獲得した自治体には特大サイズのアンドリー君人形が贈られました。

20年連続特A評価

- 1 北海道滝川市 B&G海洋センター 前田 康吉 市長

10年連続特A評価

- | | |
|----------------------------------|-------------------------------------|
| 1 岩手県一関市東山 B&G海洋センター
佐藤 善仁 市長 | 9 兵庫県養父市おおや B&G海洋センター
広瀬 栄 市長 |
| 2 岩手県奥州市前沢 B&G海洋センター
倉成 淳 市長 | 10 岡山県備前市吉永 B&G海洋センター
吉村 武司 市長 |
| 3 秋田県男鹿市 B&G海洋センター
菅原 広二 市長 | 11 岡山県津山市加茂 B&G海洋センター
谷口 圭三 市長 |
| 4 山形県舟形町 B&G海洋センター
森 富広 町長 | 12 広島県東広島市黒瀬 B&G海洋センター
高垣 廣徳 市長 |
| 5 茨城県北茨城市 B&G海洋センター
豊田 稔 市長 | 13 広島県東広島市安芸津 B&G海洋センター
高垣 廣徳 市長 |
| 6 新潟県燕市 B&G海洋センター
鈴木 力 市長 | 14 大分県中津市耶馬溪 B&G海洋センター
奥塚 正典 市長 |
| 7 長野県白馬村 B&G海洋センター
丸山 俊郎 村長 | 15 鹿児島県阿久根市 B&G海洋センター
西平 良将 市長 |
| 8 静岡県掛川市大東 B&G海洋センター
久保田 崇 市長 | |

■ 20年連続「特A」表彰を受賞して



北海道滝川市 市長 前田 康吉 様

この度は、全国464箇所ある海洋センターの中で唯一20年連続の「特A」評価を賜り、大変名誉なことだと考えております。これも、支えてくれたB&G財団の関係者の皆様と歴代の指導者や関係者のお力のおかげと心より感謝申し上げます。これからも多くの方に利用していただきながら、近隣の施設と連携してアドベンチャー・トラベルのメッカとなる拠点を目指し、地域社会の健全な発展に寄与して参る所存です。

■ 10年連続「特A」表彰を受賞して



岩手県一関市 市長 佐藤 善仁 様

この度、東山B&G海洋センターが10年連続「特A」評価をいただき、その活動が高く評価されたことを光栄に思います。B&G財団関係者の皆様をはじめ、日頃よりご支援・ご指導いただいた皆様に心より感謝を申し上げます。今後も、青少年の健全育成をはじめ、地域住民の健康づくりの場として施設を活用してまいりたいと思いますので、引き続きご支援・ご協力のほどお願い申し上げます。



岩手県奥州市 市長 倉成 淳 様

この度、10年連続「特A」評価を賜り、当センターの活動が高く評価されたことを光栄に思います。これも、B&G財団関係者の皆様をはじめ、日頃よりご支援・ご指導していただいた皆様に心より感謝を申し上げます。これからも、青少年健全育成をはじめ、地域に愛される施設として、また、スポーツの拠点、市民の体力・健康づくりの場として幅広い活動を展開してまいりますので、引き続きご支援・ご協力のほど、よろしく申し上げます。



秋田県男鹿市 市長 菅原 広二 様

この度、男鹿市B&G海洋センターの活動が高く評価され、10年連続「特A」評価による表彰を賜りましたことを光栄に思います。これも、B&G財団や多くの関係者によるご指導の賜物と心より感謝申し上げます。男鹿市は「なまはげの里」として知られる風光明媚な自然景観を有する市です。今後もこの自然豊かな男鹿市で健康増進、スポーツ振興の拠点として幅広い世代の方々に愛されるセンター運営を行い、更なる活動を展開してまいります。今後とも一層のご指導・ご鞭撻をお願い申し上げます。



山形県舟形町 町長 森 富広 様

この度は、10年連続「特A」評価の表彰を賜り、大変光栄に思います。これまで同様、青少年の健全育成をはじめ、健康と生きがいづくり、地域コミュニティ再生と活力あるまちづくりを目指して、地域に愛される運営を心掛けていきたいと思っております。また今後は、財団のご理解とご協力をいただきながら、運動設備の充実をはじめ、図書室や学習室などを併せ持つ総合型の海洋センターとして、地域の核となる「新たな公共施設」を整備できればと考えておりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い致します。



新潟県燕市 市長 鈴木 力 様

この度、10年連続「特A」評価を賜りましたことは、B&G財団をはじめ日頃よりご支援・ご指導をいただいた皆様のおかげであり、深く感謝を申し上げます。当センターは市民の皆さまからスポーツ、健康づくりの場として親しまれるとともに、学校授業やクラブ活動の受け入れなど青少年の健全育成の場として活用しております。今後も地域の皆さまから愛される施設を目指して活動を進めてまいりますので、引き続きご指導ご鞭撻のほど、よろしくお願い申し上げます。



茨城県北茨城市 市長 豊田 稔 様

このたび、北茨城市B&G海洋センターが10年連続「特A」評価による表彰を賜りましたこと、誠に光栄に存じます。現在、当センターは青少年の健全育成や地域の皆様の健康づくりコミュニティの場として、当市のまちづくりの一翼を担っております。これもひとえに、B&G財団関係者の皆様のご指導のたまものと心から感謝申し上げます。今後も利用者の皆様に満足いただけるような事業や施設運営を目指してまいりますので、引き続き、ご指導を賜りますようお願い申し上げます。



長野県白馬村 村長 丸山 俊郎 様

この度は、全国サミットにおきまして10年連続「特A」の表彰を賜りましたことは、B&G財団関係者の皆様方のご支援、ご指導の賜物であり深く感謝申し上げます。

今後も、村民の体力・健康づくりの場として、地域の皆様から愛されるセンター運営を行い、幅広い活動を展開してまいりますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



静岡県掛川市 市長 久保田 崇 様

この度、掛川市大東B&Gセンターが10年連続「特A」評価による表彰を賜り、B&G財団関係者の皆様のご指導、ご支援の賜物と深く感謝申し上げます。掛川市内3ヶ所の海洋センターは、市民スポーツや健康づくりの拠点として、日頃から多くの市民の皆様から親しまれております。

今後も、海洋センターを拠点に、持続可能な地域コミュニティが進展するとともに、市民一人ひとりが輝き、いつでも、誰でも、何回でも、「未来に向けてチャレンジできるまち」を目指して取組を進めてまいります。



兵庫県養父市 市長 広瀬 栄 様

10年連続「特A」評価による表彰を賜りましたこと、また今年度は「第三の居場所」開設においてもご支援を賜りましたこと、厚く感謝申し上げます。今後も、青少年健全育成に向け、子どもを取り巻く政策の強化を図り、途切れることなく、すべての子育て家庭を対象とした超異次元の子ども・子育て支援対策に取り組んでまいります。地域の皆様の居心地が良いまちづくりに向け、邁進する所存ですので、引き続きご支援を賜りますようお願い申し上げます。



岡山県備前市 市長 吉村 武司 様

この度は、全国サミットにおきまして10年連続「特A」の表彰を賜りましたことは、B&G財団関係者の皆さま方のご支援、ご指導の賜物であり、深く感謝申し上げます。今後におきましても、少年団活動や海洋クラブなどのスポーツ活動の拠点、市民の体力・健康づくりの場として、地域の皆さま方から親しまれるセンター運営を展開し、幅広い活動を実施してまいりますので、引き続きご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



岡山県津山市 市長 谷口 圭三 様

この度は、全国サミットにおきまして10年連続「特A」の表彰を賜りましたことは大変光栄に存じます。これもB&G財団関係者皆様のご指導、ご支援によるものと心より感謝申し上げます。

津山市加茂B&G海洋センターは今回の表彰を励みに青少年の健全育成と地域の皆様から愛される施設を目指し、より一層努力していく所存でございますので、引き続き関係者の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



広島県東広島市 市長 高垣 廣徳 様

この度、東広島市黒瀬B&G海洋センター及び東広島市安芸津B&G海洋センターの活動を高く評価していただき、10年連続「特A」評価を賜りましたこと誠に光栄に存じます。また、これまで両センターの大規模改修においても、格別のご配慮を賜りましたこと、重ねて御礼申し上げます。これからも市民の健康増進、青少年の健全育成とともに地域コミュニティの拠点として、より多くの方々に利用していただき、愛される施設となるよう努めてまいりますので、引き続きご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



大分県中津市 市長 奥塚 正典 様

この度、耶馬溪B&G海洋センターの活動に対し、大分県下初の10年連続「特A」評価を賜り大変光栄に存じます。これも、B&G財団の皆さまによる多大なるご支援の賜物と心より感謝申し上げます。当センターは令和5年度より全国初の取り組みで、簡易宿泊所としての営業を開始します。地域内外の人々が集う交流拠点となるよう、様々な事業を展開しますので、引き続きご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。



鹿児島県阿久根市 市長 西平 良将 様

この度、10年連続「特A」評価を賜り、阿久根市B&G海洋センターの活動を高く評価されたことは、B&G財団や多くの関係者によるご指導の賜物と衷心より感謝申し上げます。今後とも、現状に満足せず、少年団活動などのスポーツ活動の拠点、市民の体力・健康づくりの場として、地域の皆様から愛されるセンター運営を行い、幅広い活動を展開してまいりますので、引き続きご指導、ご支援を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

2021年度 優良海洋センター

■「特A評価」海洋センター 314カ所

NO	ブロック	道府県	センター名	NO	ブロック	道府県	センター名	NO	ブロック	道府県	センター名
1	北海道	北海道	砂川市 14	67	東北	秋田	由利本荘市大内	133	中部	山梨	甲斐市敷島 11
2			小平町 8	68			八郎潟町	134			甲斐市双葉 12
3			厚岸町 11	69			大仙市神岡	135			甲州市塩山 12
4			剣淵町 12	70			由利本荘市由利	136			大町市 12
5			大樹町 14	71			にかほ市象潟 12	137			下條村
6			鷹栖町 13	72			舟形町 10	138			白馬村 10
7			斜里町 11	73			酒田市平田 11	139			飯綱町牟礼
8			愛別町 13	74			柳津町	140			飯島町
9			遠別町 8	75			小野町 15	141			上松町
10			新篠津村	76			埴町 9	142			生坂村
11			大空町東藻琴 12	77		田村市滝根	143	飯綱町三水			
12			北竜町 8	78		かすみがうら市千代田	144	松本市四賀			
13			下川町	79		笠間市岩間	145	松本市波田 13			
14			東神楽町	80		小美玉市玉里	146	可児市 15			
15			名寄市風連 11	81		八千代町	147	川辺町			
16			積丹町 13	82		北茨城市 10	148	八百津町 16			
17			名寄市	83		石岡市	149	中津川市福岡 8			
18			和寒町	84		五霞町 12	150	御嵩町 11			
19			芦別市 8	85		小美玉市小川	151	富加町 8			
20			長万部町	86		常陸太田市水府	152	中津川市加子母 11			
21			上富良野町 8	87		下野市国分寺 11	153	中津川市付知 11			
22			東川町	88		那須烏山市南那須 12	154	掛川市大東 10			
23			美幌町 13	89		さくら市喜連川	155	掛川市 14			
24			大空町女満別 12	90		那須塩原市塩原	156	川根本町本川根			
25			石狩市 15	91		芳賀町 16	157	牧之原市相良 12			
26			浦臼町 12	92		みなかみ町新治	158	袋井市袋井			
27			秩父別町	93		明和町 15	159	御前崎市			
28			沼田町 11	94		玉村町 15	160	沼津市戸田 8			
29			岩見沢市栗沢	95		吉見町 8	161	浜松市三ヶ日			
30			苫前町 11	96		幸手市	162	新城市作手 12			
31			滝川市 20	97		嵐山町	163	東栄町 12			
32			古平町 12	98		久喜市栗橋 19	164	清須市春日			
33			室蘭市	99		松伏町 12	165	西尾市一色			
34			弘前市 11	100		白岡市 12	166	豊川市小坂井 8			
35	青森	青森	五所川原市市浦	101	いすみ市	167	大台町				
36			平川市尾上 8	102	御宿町	168	大紀町大内山				
37			鶴田町 9	103	横芝光町横芝 14	169	桑名市長島 12				
38			南部町名川 19	104	香取市小見川 12	170	伊勢市御園				
39			平内町	105	大多喜町 12	171	菰野町 12				
40			五所川原市金木	106	香取市栗源	172	熊野市紀和 13				
41			六戸町 12	107	南房総市千倉	173	志摩市志摩 9				
42			弘前市岩木	108	成田市大栄 9	174	伊賀市大山田				
43			山田町	109	香取市山田	175	伊賀市阿山				
44			久慈市山形 13	110	鋸南町 13	176	志摩市浜島				
45	一関市東山 10	111	横芝光町光 14	177	亀山市関 12						
46	岩手	岩手	岩泉町	112	胎内市中条 13	178	野州市中主 12				
47			洋野町種市 8	113	佐渡市小木 8	179	米原市山東 14				
48			大船渡市三陸	114	燕市 10	180	多賀町 8				
49			九戸村	115	上越市頸城	181	高島市高島				
50			奥州市前沢 10	116	新潟市中之口	182	甲賀市甲南				
51			一関市藤沢 9	117	新潟市味方 8	183	米原市伊吹 12				
52			陸前高田市	118	新潟市新津 8	184	長浜市浅井				
53			登米市中田	119	佐渡市羽茂	185	高島市今津 14				
54			亘理町 13	120	砺波市 11	186	甲賀市甲賀				
55			松島町	121	南砺市福野 15	187	南丹市園部				
56	川崎町 13	122	富山市八尾 8	188	宮津市						
57	大郷町 12	123	穴水町 14	189	堺市美原 11						
58	大崎市松山	124	志賀町富来 12	190	南あわじ市南淡 15						
59	蔵王町 15	125	白山市鶴来	191	宍粟市千種						
60	登米市迫	126	勝山市	192	新温泉町浜坂						
61	加美町中新田	127	あわら市金津	193	豊岡市出石						
62	能代市	128	大野市 11	194	養父市おおや 10						
63	にかほ市金浦	129	坂井市春江	195	上郡町 14						
64	潟上市天王	130	坂井市丸岡 8	196	丹波篠山市						
65	男鹿市 10	131	山梨市牧丘 12	197	豊岡市竹野						
66	由利本荘市西目 8	132	南アルプス市白根 12	198	香美町香住 14						

NO	ブロック	道府県	センター名	NO	ブロック	道府県	センター名	NO	ブロック	道府県	センター名
199	近畿	兵庫	姫路市家島	238	中国	山口	田布施町	277	北九州	佐賀	みやき町北茂安
200			宍粟市波賀	239			長門市日置	278			南島原市加津佐
201			猪名川町 13	240			周防大島町 16	279			長崎
202	和歌山	鳥取	串本町 13	241	徳島	徳島	岩国市美和	280	南島原市西有家		
203			鳥取市 11	242			阿南市那賀川	281	平戸市生月		
204			鳥取市佐治	243			徳島市 14	282	時津町 14		
205			鳥取市気高	244			阿南市	283	杵築市		
206			鳥取市鹿野	245			牟岐町	284	国東市武蔵		
207			北栄町北条 12	246			美波町由岐	285	日田市天瀬		
208			伯耆町岸本 12	247			那賀町鷺敷 11	286	中津市耶馬溪 10		
209			島根	岡山			松江市松江	248	海陽町海南	287	国東市国見
210							江津市桜江 13	249	さぬき市津田	288	竹田市直入
211							浜田市三隅 13	250	小豆島町内海 13	289	玖珠町
212	雲南市加茂 16	251			さぬき市寒川	290	由布市挾間				
213	松江市宍道 9	252			三豊市高瀬	291	長洲町 12				
214	岡山	岡山			岡山市建部	253	綾川町綾上	292	津奈木町 11		
215					備前市吉永 10	254	高松市国分寺	293	湯前町 13		
216					新見市哲多	255	三豊市財田	294	菊池市泗水		
217					井原市美星	256	三木町	295	玉名市岱明		
218					津山市加茂 10	257	今治市吉海	296	南関町		
219			美作市作東	258	久万高原町久万	297	南阿蘇村白水				
220			井原市井原 11	259	松山市中島 15	298	宇城市三角				
221			奈義町 12	260	鬼北町広見 9	299	菊池市旭志				
222			瀬戸内市長船	261	西条市丹原	300	あさぎり町兎田				
223			和気町佐伯	262	愛南町御荘 18	301	宮崎	宮崎市田野			
224	瀬戸内市邑久 15	263	今治市朝倉 8	302	鹿児島	いちき串木野市串木野 15					
225	矢掛町 13	264	津野町東津野 13	303		長島町 14					
226	鏡野町 13	265	四万十町窪川 14	304		阿久根市 10					
227	赤磐市吉井 12	266	柳川市大和	305		さつま町 13					
228	新見市大佐	267	宗像市玄海	306		日置市東市来 14					
229	府中市 18	268	大任町 8	307		薩摩川内市樋脇					
230	東広島市黒瀬 10	269	築上町築城 9	308		天城町 11					
231	呉市蒲刈	270	みやこ町豊津	309		薩摩川内市上甕					
232	安芸高田市高宮	271	久留米市三瀬	310		南さつま市坊津 9					
233	尾道市向島	272	川崎町	311		与論町 13					
234	安芸高田市八千代	273	朝倉市甘木 13	312	奄美市笠利						
235	北広島町芸北	274	太良町 9	313	沖縄	伊江村 11					
236	東広島市安芸津 10	275	神埼市 14	314		名護市					
237	山口	萩市むつみ	276	鹿島市							

※赤…10年以上連続特A 青…9年連続特A 緑…8年連続特A 【評価期間】 2021年4月1日～2022年3月31日

■ 「A評価」 海洋センター 93カ所

NO	ブロック	道府県	センター名	NO	ブロック	道府県	センター名	NO	ブロック	道府県	センター名	NO	ブロック	道府県	センター名
1	東北	北海道	せたな町	25	中部	富山	高岡市福岡	49	北九州	福岡	みやま市瀬高				
2			枝幸町歌登	26			永平寺町松岡	50			福岡	福智町金田			
3			中泊町中里	27			越前町朝日	51			佐賀	築上町椎田			
4		青森	十和田市	28		福井	若狭町三方	52		長崎	江北町				
5			八幡平市松尾	29			池田町	53			五島市岐宿				
6			岩手	普代村			30	甲州市勝沼			54	壱岐市勝本			
7		岩手	花巻市東和	31		中央市玉穂	55	大分		由布市湯布院					
8			涌谷町	32		富士見町	56			宇佐市安心院					
9			登米市米山	33		長和町和田	57			佐伯市鶴見					
10		宮城	栗原市築館	34		山形村	58	熊本		日南市南郷					
11			仙台市泉	35		阿南町	59			宮崎	霧島市牧園				
12			横手市十文字	36		恵那市明智	60			南九州	鹿屋市串良				
13		秋田	潟上市飯田川	37		高山市国府	61	鹿児島			南九州市知覧				
14			三種町八竜	38		恵那市山岡	62				南大隅町佐多				
15			湯沢市	39		高山市清見	63				志布志市有明				
16		福島	大瀧村	40		磐田市竜洋	64	沖縄			うるま市勝連				
17			本宮市白沢	41		掛川市大須賀	65								
18			群馬	板倉町		42	浜松市天竜				66				
19		関東	埼玉	鶴ヶ島市		43	三重	いなべ市大安			67				
20	新潟		阿賀町三川	44	滋賀	近江八幡市安土	68								
21			阿賀町津川	45	京都	京丹波町瑞穂	69								
22		阿賀野市安田	46	大阪	京丹波町和知	70									
23	阿賀町上川	47	千早赤阪村		71										
24	富山	上市町	48	能勢町	72										

【評価期間】 2021年4月1日～2022年3月31日

■ 2021年度海洋センター評価について

B&G財団では、全国の海洋センターの現状を把握し、効率的な支援を行うため、2003年度から「海洋センター評価」を実施しております。

この評価は年1回、各海洋センターから提出された運営状況資料等に基づき、「海洋センター利用者人数」、「財団事業の実施状況」、「B&G指導員の配置状況」など、総合的に査定し、決定するものです。

特に顕著な実績があり、良好な海洋センター運営が図られている優良海洋センターを「特A」「A」、続いて「B」「C」「D」「E」までの6段階に分けて「評価」しています。（各評価の内訳は下記グラフのとおり）

「評価」を導入した2003年度当時は、「特A」の海洋センターは滝川市の1センターのみでしたが、首長様をはじめ行政執行部の皆様のご理解・ご協力により2021年度評価では314センターへと大幅に向上しております。

一方、活性化が滞る2年連続「C・D」評価の海洋センターについては、B&G財団役員と首長様と協議を行い、今後の運営方針などをヒアリングさせていただいております。

I 海洋センター評価 5カ年の推移

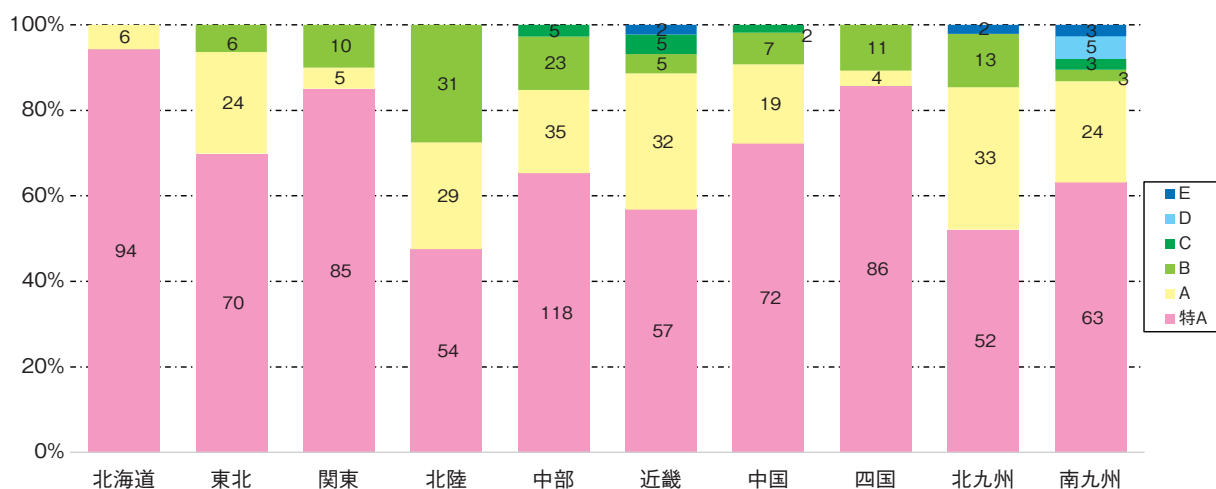
評価名	2017年度 評価	2018年度 評価	2019年度 評価	2020年度 評価	2021年度 評価
特A	281	306	304	322	314
A	87	84	92	83	93
B	85	63	57	49	44
C	8	11	7	4	6
D	3	0	1	1	2
E	2	2	4	4	3
廃止	9	10	11	14	15

II 2021年度評価の割合

評価名	2021年度評価	
特A	314	65.4%
A	93	19.4%
B	44	9.2%
C	6	1.3%
D	2	0.4%
E	3	0.6%
廃止	15	3.1%

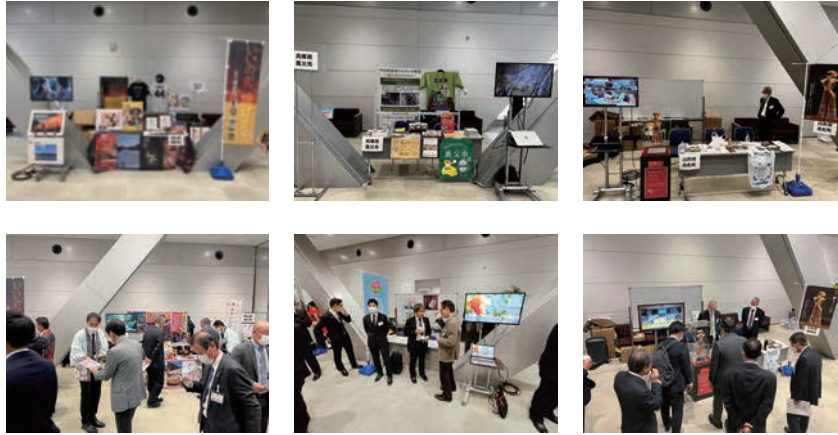
} 84.8%

III ブロック別 評価内訳



■ 自治体PRブース

第一部終了後には、出席者の皆様の情報交換の場としてコーヒープレイクと10年連続特Aを獲得した市町村による特産品紹介ブースを展示。各自治体の魅力や課題を情報交換できる、大変盛況なコーヒープレイクとなりました。



各自治体の地域の特産品をご紹介いただきました



ブースは多くの人でにぎわい、各自治体の魅力を伝えていただき大盛況でした



会場では盛んに交流が行われていました

10年連続特A評価獲得 特産品ブース出展自治体の皆様 ご協力ありがとうございました！

新潟県燕市	山形県舟形町	静岡県掛川市	兵庫県養父市
岡山県備前市	岡山県津山市	大分県中津市	

本会議場前のロビーでも、企画課ブースを設置。また、表彰された優良海洋センター一覧が掲示され、多くの方が自身の自治体名を探して記念撮影をしていました。



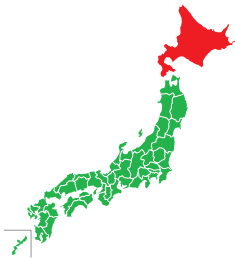
優良海洋センター一覧を掲示

企画課事業案内ブース

■ 第15回「B&G全国サミット」ご出席市町村長

全国464海洋センターが所在する386市町村から254名の首長の皆様にご出席いただきました。

◆北海道ブロック



砂川市 市長
善岡 雅文 様



小平町 町長
関 次雄 様



厚岸町 町長
若狭 靖 様



剣淵町 町長
早坂 純夫 様



大樹町 町長
酒森 正人 様



鷹栖町 町長
谷 寿男 様



斜里町 町長
馬場 隆 様



遠別町 町長
笹川 洸志 様



新篠津村 村長
石塚 隆 様



大空町 町長
松川 一正 様



北竜町 町長
佐野 豊 様



下川町 町長
谷 一之 様



東神楽町 町長
山本 進 様



名寄市 市長
加藤 剛士 様



積丹町 町長
松井 秀紀 様



芦別市 市長
荻原 貢 様



長万部町 町長
木幡 正志 様



上富良野町 町長
斎藤 繁 様



東川町 町長
松岡 市郎 様



美幌町 町長
平野 浩司 様



石狩市 市長
加藤 龍幸 様



秩父別町 町長
澁谷 信人 様



沼田町 町長
横山 茂 様



岩見沢市 市長
松野 哲 様



苫前町 町長
福士 敦朗 様



古平町 町長
成田 昭彦 様



愛別町 町長
矢部 福二郎 様

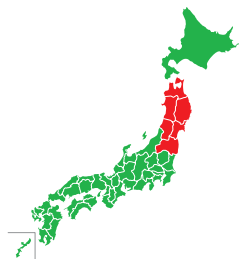


浦臼町 町長
川畑 智昭 様



和寒町 町長
奥山 盛 様

◆東北ブロック



青森県 五所川原市 市長
佐々木 孝昌 様



青森県 平川市 市長
長尾 忠行 様



青森県 東北町 町長
長久保 耕治 様



青森県 南部町 町長
工藤 祐直 様



青森県 平内町 町長
船橋 茂久 様



青森県 六戸町 町長
吉田 豊 様



青森県 中泊町 町長
濱舘 豊光 様



岩手県 久慈市 市長
遠藤 譲一 様



岩手県 一関市 市長
佐藤 善仁 様



岩手県 九戸村 村長
晴山 裕康 様



岩手県 花巻市 市長
上田 東一 様



岩手県 八幡平市 市長
佐々木 孝弘 様



岩手県 山田町 町長
佐藤 信逸 様



宮城県 涌谷町 町長
遠藤 釈雄 様



宮城県 亶理町 町長
山田 周伸 様



宮城県 川崎町 町長
小山 修作 様



宮城県 蔵王町 町長
村上 英人 様



宮城県 加美町 町長
猪股 洋文 様



宮城県 大郷町 町長
田中 学 様



宮城県 大崎市 市長
伊藤 康志 様



秋田県 にかほ市 市長
市川 雄次 様



秋田県 男鹿市 市長
菅原 広二 様



秋田県 横手市 市長
高橋 大 様



秋田県 湯上市 市長
鈴木 雄大 様



秋田県 由利本荘市 市長
湊 貴信 様



秋田県 八郎潟町 町長
島山 菊夫 様



秋田県 三種町 町長
田川 政幸 様



秋田県 大潟村 村長
高橋 浩人 様



山形県 舟形町 町長
森 富広 様



福島県 柳津町 町長
小林 功 様



福島県 小野町 町長
村上 昭正 様

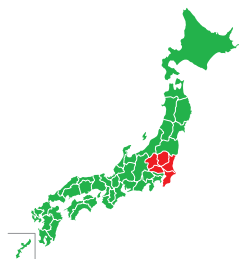


福島県 塙町 町長
宮田 秀利 様



福島県 田村市 市長
白石 高司 様

◆関東ブロック



茨城県 石岡市 市長
谷島 洋司 様



茨城県 かすみがうら市 市長
宮嶋 謙 様



茨城県 小美玉市 市長
島田 幸三 様



茨城県 常陸太田市 市長
宮田 達夫 様



栃木県 那須烏山市 市長
川俣 純子 様



栃木県 芳賀町 町長
見目 匡 様



栃木県 下野市 市長
坂村 哲也 様



群馬県 みなかみ町 町長
阿部 賢一 様



群馬県 明和町 町長
富塚 基輔 様



群馬県 板倉町 町長
栗原 実 様



埼玉県 吉見町 町長
宮崎 善雄 様



埼玉県 幸手市 市長
木村 純夫 様



埼玉県 神川町 町長
櫻澤 晃 様



埼玉県 嵐山町 町長
佐久間 孝光 様



埼玉県 久喜市 市長
梅田 修一 様



埼玉県 松伏町 町長
鈴木 勝 様



埼玉県 白岡市 市長
藤井 栄一郎 様



千葉県 いすみ市 市長
太田 洋 様



千葉県 御宿町 町長
石田 義廣 様



千葉県 成田市 市長
小泉 一成 様



千葉県 鋸南町 町長
白石 治和 様

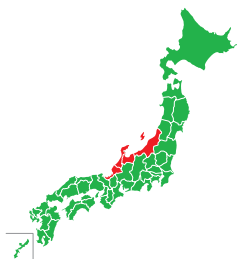


千葉県 横芝光町 町長
佐藤 晴彦 様



千葉県 大多喜町 町長
平林 昇 様

◆北陸ブロック



新潟県 胎内市 市長
井畑 明彦 様



新潟県 燕市 市長
鈴木 力 様



新潟県 糸魚川市 市長
米田 徹 様



新潟県 阿賀町 町長
神田 一秋 様



新潟県 上越市 市長
中川 幹太 様



富山県 南砺市 市長
田中 幹夫 様



富山県 上市町 町長
中川 行孝 様



石川県 志賀町 町長
小泉 勝 様



福井県 越前町 町長
青柳 良彦 様



福井県 大野市 市長
石山 志保 様

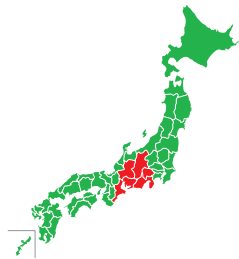


福井県 若狭町 町長
渡辺 英朗 様



福井県 あわら市 市長
森 之嗣 様

◆中部ブロック



山梨県 中央市 市長
望月 智 様



山梨県 南アルプス市 市長
金丸 一元 様



山梨県 甲斐市 市長
保坂 武 様



山梨県 北杜市 市長
上村 英司 様



山梨県 甲州市 市長
鈴木 幹夫 様



山梨県 山梨市 市長
高木 晴雄 様



長野県 大町市 市長
牛越 徹 様



長野県 下條村 村長
金田 憲治 様



長野県 白馬村 村長
丸山 俊郎 様



長野県 飯綱町 町長
峯村 勝盛 様



長野県 飯島町 町長
下平 洋一 様



長野県 長和町 町長
羽田 健一郎 様



長野県 山形村 村長
本庄 利昭 様



長野県 中野市 市長
湯本 隆英 様



長野県 上松町 町長
大屋 誠 様



長野県 富士見町 町長
名取 重治 様



長野県 生坂村 村長
藤澤 泰彦 様



長野県 阿南町 町長
勝野 一成 様



岐阜県 可児市 市長
富田 成輝 様



岐阜県 川辺町 町長
佐藤 光宏 様



岐阜県 八百津町 町長
金子 政則 様



岐阜県 中津川市 市長
青山 節児 様



岐阜県 御嵩町 町長
渡邊 公夫 様



岐阜県 富加町 町長
板津 徳次 様



静岡県 掛川市 市長
久保田 崇 様



静岡県 川根本町 町長
園田 靖邦 様



静岡県 牧之原市 市長
杉本 基久雄 様



静岡県 磐田市 市長
草地 博昭 様



静岡県 松崎町 町長
深澤 準弥 様



愛知県 新城市 市長
下江 洋行 様



愛知県 東栄町 町長
村上 孝治 様



愛知県 西尾市 市長
中村 健 様



愛知県 豊川市 市長
竹本 幸夫 様



三重県 大台町 町長
大森 正信 様



三重県 いなべ市 市長
日沖 靖 様



三重県 熊野市 市長
河上 敢二 様



三重県 志摩市 市長
橋爪 政吉 様

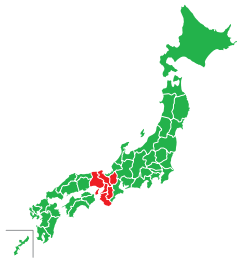


三重県 伊賀市 市長
岡本 栄 様



三重県 大紀町 町長
服部 吉人 様

◆近畿ブロック



滋賀県 野洲市 市長
栢木 進 様



滋賀県 米原市 市長
平尾 道雄 様



滋賀県 長浜市 市長
浅見 宣義 様



滋賀県 高島市 市長
福井 正明 様



滋賀県 甲賀市 市長
岩永 裕貴 様



滋賀県 近江八幡市 市長
小西 理 様



京都府 南丹市 市長
西村 良平 様



京都府 和束町 町長
堀 忠雄 様



京都府 京丹波町 町長
畠中 源一 様



京都府 宮津市 市長
城崎 雅文 様



兵庫県 養父市 市長
広瀬 栄 様



兵庫県 香美町 町長
浜上 勇人 様



兵庫県 淡路市 市長
門 康彦 様



兵庫県 芦屋市 市長
伊藤 舞 様



兵庫県 市川町 町長
岩見 武三 様



兵庫県 南あわじ市 市長
守本 憲弘 様



兵庫県 猪名川町 町長
岡本 信司 様



兵庫県 上郡町 町長
梅田 修作 様



兵庫県 新温泉町 町長
西村 銀三 様



兵庫県 丹波市 市長
林 時彦 様



奈良県 曽爾村 村長
芝田 秀数 様



奈良県 山添村 村長
野村 栄作 様

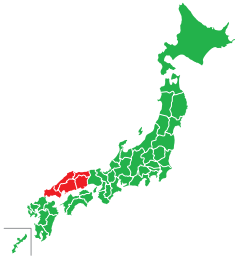


和歌山県 串本町 町長
田嶋 勝正 様



和歌山県 広川町 町長
西岡 利記 様

◆中国ブロック



鳥取県 北栄町 町長
手嶋 俊樹 様



鳥取県 伯耆町 町長
森安 保 様



鳥取県 浜田市 市長
久保田 章市 様



鳥取県 雲南市 市長
石飛 厚志 様



鳥取県 美郷町 町長
嘉戸 隆 様



鳥取県 江津市 市長
中村 中 様



岡山県 備前市 市長
吉村 武司 様



岡山県 新見市 市長
戎 齊 様



岡山県 井原市 市長
大舌 勲 様



岡山県 津山市 市長
谷口 圭三 様



岡山県 美作市 市長
萩原 誠司 様



岡山県 和気町 町長
太田 啓補 様



岡山県 矢掛町 町長
山岡 敦 様



岡山県 鏡野町 町長
山崎 親男 様



岡山県 赤磐市 市長
友實 武則 様



岡山県 浅口市 市長
栗山 康彦 様



岡山県 瀬戸内市 市長
武久 顕也 様



広島県 府中市 市長
小野 申人 様



広島県 三次市 市長
福岡 誠志 様



広島県 三原市 市長
岡田 吉弘 様



広島県 尾道市 市長
平谷 祐宏 様



広島県 呉市 市長
新原 芳明 様



広島県 坂町 町長
吉田 隆行 様



広島県 北広島町 町長
箕野 博司 様



山口県 萩市 市長
田中 文夫 様



山口県 田布施町 町長
東 浩二 様



山口県 長門市 市長
江原 達也 様

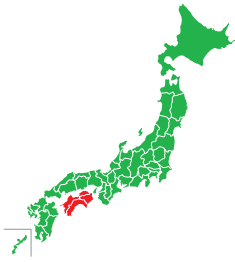


山口県 周防大島町 町長
藤本 浄孝 様



山口県 岩国市 市長
福田 良彦 様

◆四国ブロック



徳島県 阿南市 市長
表原 立磨 様



徳島県 徳島市 市長
内藤 佐和子 様



徳島県 牟岐町 町長
枅富 治 様



徳島県 東みよし町 町長
松浦 敬治 様



徳島県 美波町 町長
影治 信良 様



徳島県 海陽町 町長
三浦 茂貴 様



徳島県 那賀町 町長
坂口 博文 様



香川県 小豆島町 町長
大江 正彦 様



香川県 綾川町 町長
前田 武俊 様



香川県 三豊市 市長
山下 昭史 様



香川県 三木町 町長
伊藤 良春 様



香川県 高松市 市長
大西 秀人 様



愛媛県 鬼北町 町長
兵頭 誠亀 様



愛媛県 愛南町 町長
清水 雅文 様



高知県 東洋町 町長
松延 宏幸 様

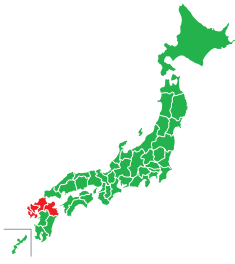


高知県 津野町 町長
池田 三男 様



高知県 四万十町 町長
中尾 博憲 様

◆北九州ブロック



福岡県 みやま市 市長
松嶋 盛人 様



福岡県 宮若市 市長
塩川 秀敏 様



福岡県 みやこ町 町長
内田 直志 様



福岡県 大任町 町長
永原 譲二 様



福岡県 飯塚市 市長
片峯 誠 様



福岡県 川崎町 町長
原口 正弘 様



福岡県 福智町 町長
黒土 孝司 様



福岡県 築上町 町長
新川 久三 様



福岡県 朝倉市 市長
林 裕二 様



佐賀県 太良町 町長
永淵 孝幸 様



佐賀県 神埼市 市長
内川 修治 様



佐賀県 みやき町 町長
岡 毅 様



長崎県 南島原市 市長
松本 政博 様



長崎県 平戸市 市長
黒田 成彦 様



長崎県 佐世保市 市長
朝長 則男 様



大分県 杵築市 市長
永松 悟 様



大分県 宇佐市 市長
是永 修治 様



大分県 国東市 市長
三河 明史 様

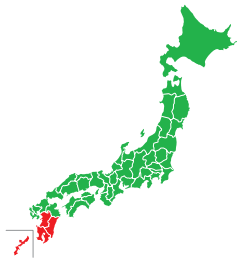


大分県 竹田市 市長
土居 昌弘 様



大分県 豊後高田市 市長
佐々木 敏夫 様

◆南九州ブロック



熊本県 長洲町 町長
中逸 博光 様



熊本県 津奈木町 町長
山田 豊隆 様



熊本県 湯前町 町長
長谷 和人 様



熊本県 美里町 町長
上田 泰弘 様



熊本県 玉名市 市長
藏原 隆浩 様



熊本県 南関町 町長
佐藤 安彦 様



熊本県 南阿蘇村 村長
吉良 清一 様



熊本県 宇城市 市長
守田 憲史 様



熊本県 菊池市 市長
江頭 実 様



熊本県 あさぎり町 町長
尾鷹 一範 様



宮崎県 日南市 市長
高橋 透 様



宮崎県 宮崎市 市長
清山 知憲 様



鹿児島県 いちき串木野市 市長
中屋 謙治 様



鹿児島県 長島町 町長
川添 健 様



鹿児島県 阿久根市 市長
西平 良将 様



鹿児島県 さつま町 町長
上野 俊市 様



鹿児島県 湧水町 町長
池上 滝一 様



鹿児島県 南九州市 市長
塗木 弘幸 様



鹿児島県 日置市 市長
永山 由高 様



鹿児島県 天城町 町長
森田 弘光 様



鹿児島県 南大隅町 町長
石畑 博 様



鹿児島県 南さつま市 市長
本坊 輝雄 様



鹿児島県 奄美市 市長
安田 壮平 様



沖縄県 本部町 町長
平良 武康 様



沖縄県 久米島町 町長
桃原 秀雄 様



沖縄県 名護市 市長
渡具知 武豊 様

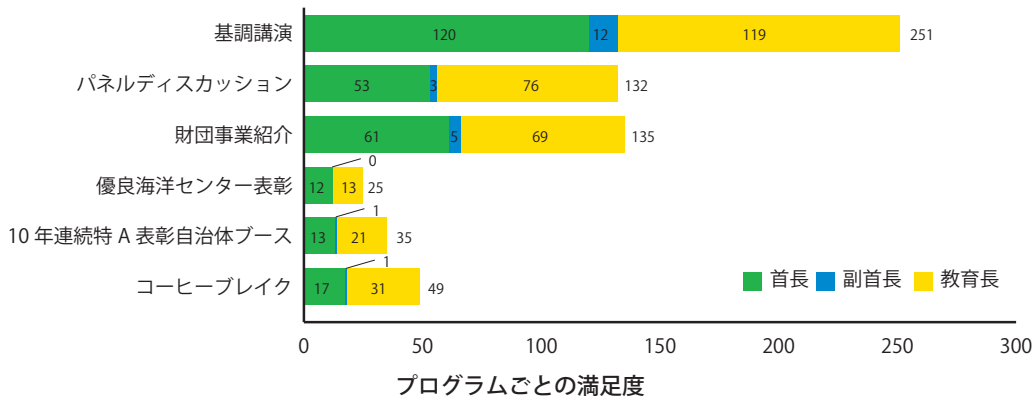
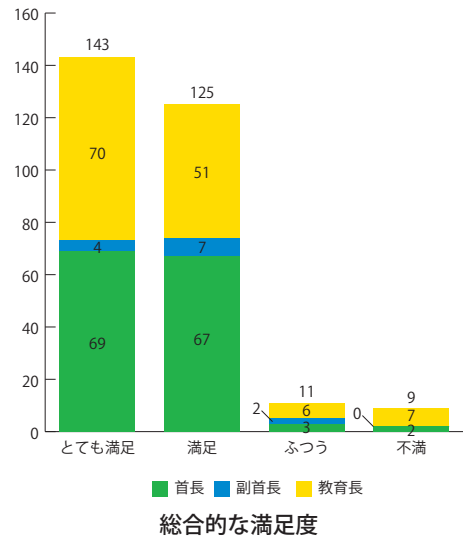
■ 参加者アンケート集計

会議への高い満足度

会議終了後に徴収したアンケート結果によると、今回のサミットの総合的な満足度として、回答者288名中268名(93%)が「とても満足」(143名)もしくは「満足」(125名)と答えました。

プログラムごとの満足度では、大多数の参加者が津屋崎ブランチLLP山口 覚 氏による基調講演『多様性に溢れた寛容な地域づくり～福津市津屋崎での空き家活用と人口増加の取り組み～』が「特によかった」と答えました。

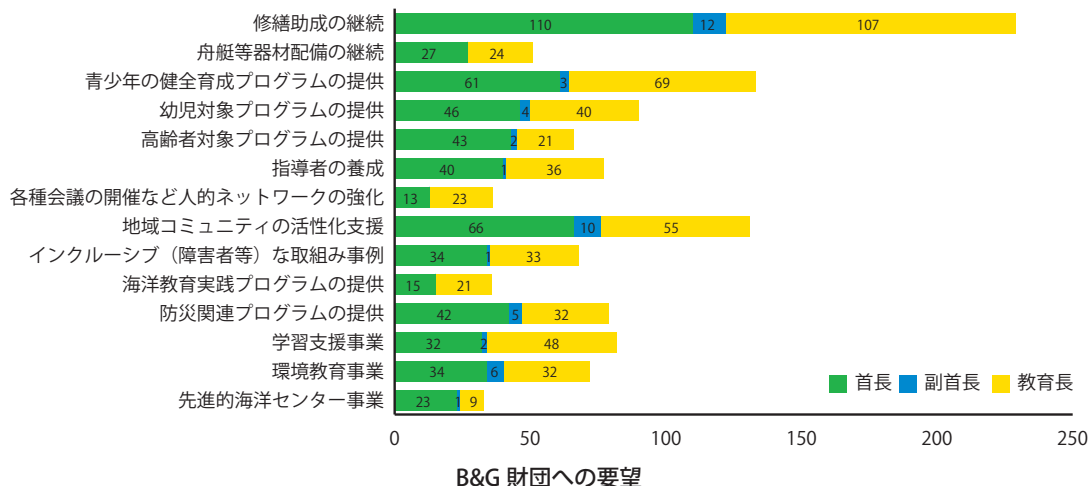
また、財団事業紹介や3市町村のパネルディスカッションについても大変有意義であったと記述する参加者が多くありました。



B&G財団への要望

—修繕助成事業への強い要望—

「修繕助成事業」については、継続的に高い要望が挙げられ、老朽化した施設を維持するために必要不可欠な事業であることが明確となりました。また、青少年の教育に対するプログラムの充実や、地域コミュニティの活性化支援についても要望が高いことが確認できました。今後のさらなる事業の充実を図るため、皆様のご意見を真摯に受け止め、取り組んで参ります。



■ 第15回「B&G全国サミット」を終えて正副会長の感想

「B&G全国サミット」会長



岐阜県 中津川市長
青山 節児 様

「第15回B&G全国サミット」が全国各地の首長やB&G関係者の皆様のご出席のもと、盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、3年ぶりの開催となった今回のサミットは、「地域共創～B&G 50th～」をテーマとして実施され、355市町村から総勢700名を超える自治体関係者等が出席されました。これはB&G財団の皆様並びに関係団体の皆様の日頃からのご活躍の賜物であり、合わせてB&G所在自治体の繋がりや強さであると感じました。今サミットの共同宣言は、「地域共創」を掲げ、「B&Gネットワークをはじめ、産学官民の更なる連携協力のもと、地域の課題に共に取り組み、持続可能な地域社会の実現を目指そう！」という趣旨で採択されました。近年、我々自治体も様々な地域課題に直面するなか、地域コミュニティの強化と持続可能な新たな地域づくりが急務となっています。青少年の健全育成という揺るがぬ理念のもと、新たな時代に合わせて変化を重ね、地域課題に立ち向かっていく。まさに「不易」と「流行」を組み合わせた取り組みを行っているB&G財団の皆様とともに、本市といたしましても共同宣言の推進に加え、全国の自治体の皆様との連携を深め、未来を支える世代の育成に努めてまいります。結びに、本サミットの関係者の皆様に深く感謝申し上げますとともに、B&G財団をはじめ各海洋センターの益々のご発展を祈念申し上げます。

「B&G全国サミット」副会長



千葉県 鋸南町長
白石 治和 様

「第15回B&G全国サミット」が無事開催できたことを心よりお慶び申し上げます。また、B&G財団設立50周年を迎えられますこと、心よりお祝い申し上げます。今回は、会場も広く財団からの発表方法も今までとは違いこれまで以上に内容の濃いサミットとなりました。3年ぶりに再会できた全国各地の首長様の皆様との情報交換も大変有意義な時間となりました。基調講演をいただきました山口様の講演は、過疎地域に指定されているわが町もすぐにも参考にしたい内容ばかりで大変興味深く拝聴させていただきました。B&G財団から挙げられた5つのミッションも、積極的に検討し一つでも多く取り組めるよう努めて参りたいと思いますので、今後ともご指導・ご支援のほどよろしくお願いたします。

「B&G全国サミット」副会長



徳島県 美波町長
影治 信良 様

「地域共創～B&G50th～」をテーマに、第15回「B&G全国サミット」が3年ぶりに開催されましたこと、心からお慶び申し上げます。開催にあたっては、なにかとご苦労があったと拝察いたしますが、開催にこぎつけられた菅原悟志理事長をはじめ職員、関係者の皆様に感謝と敬意を表します。津屋崎ランチLLP代表の山口覚様の基調講演では、まちの永続を目指して「多様性」「対話」「つながり」などの視点を持ち「競争・所有・依存」から「協力・共有・自立」へシフトする取り組みを通じて、地域を元気にしているお話を聴くことができ、大変勇気をいただきました。日本財団尾形武寿理事

長からは、「日本の抱える課題（世界の海をどうするか、高齢化、少子化、障害者、災害）にどう対応するか」という問題提起があり、「課題解決のキーワードは子どもである」というお話を拝聴しました。いじめ、自殺、虐待、望まれない出生、貧困など子どもは増えない」と仰ったのは、至極もったもなことで、国も我々自治体も、より効果的な施策を実施する必要があると強く感じたところです。今後とも全国B&Gネットワークの連帯を深め、持続可能な地域社会実現のため努力を重ねて参りたいと思います。結びに、B&G財団の設立50周年のお祝いと今後ますますのご発展をご祈念申し上げます。

「B&G全国サミット」副会長



北海道 新篠津村長
石塚 隆 様

第15回B&G全国サミットが全国各地から多くの首長、教育長の皆様のご出席のもと、盛大に開催されましたことを心よりお慶び申し上げます。コロナ禍により交流の場が著しく減っていた中、3年ぶりの全国サミットの開催は多くの全国の仲間との再会の場となり大変意義深い会議となりました。基調講演では、今回のサミットのテーマ「地域共創」にちなんだ福岡県で活躍されている津屋崎ランチLLP代表山口様の「地方を元気にする街づくりの取り組み」発表や、パネルディスカッションでは、3名の首長から「地域資源を活用したまちづくり」の事例発表を聞くことが出来、今後のまちづくりに大変参考となるものでした。第2部の冒頭、菅原理事長よりB&G財団

のこれまでの歩みを踏まえて新たな5つのミッションの提案説明がありました。大変力強いメッセージを頂き、我々地域海洋センターも、改めて多様化する社会問題や地域課題の解決に向け、地域住民と共に更に歩みを進めなければならないと強く感じました。終わりに、50周年を契機としてB&G財団が更なる発展を遂げられますことを願うと共に、今後も引き続きB&G財団のご指導・ご支援を賜りますようお願い申し上げます。



全国サミット共同宣言



正副会長による議事の進行

■ 第15回「B&G全国サミット」参加首長感想（一部抜粋）

北海道苫前町 町長 福士 敦朗 様

コロナ過の中、3年ぶりの開催に心より御礼と敬意を申し上げます。未来ある子供達の健全なる育成の為に地域を挙げて取り組んで参る所存です。今後ともご指導のほどをよろしくお願いいたします。

北海道古平町 町長 成田 昭彦 様

長引くコロナ過の影響で、久しぶりの開催でしたが基調講演をはじめパネルディスカッションでの「地域活性化に向けた取り組み事例」では我が町を見つめなおすいい機会となり刺激を与えていただきました。まさに「地域共創」であります。今後とも自治体・地域発展のためにBG財団との連携を深めていきたいと思えます。

青森県東北町 町長 長久保 耕治 様

基調講演並びにB&G財団の取組はまさに各自治体とりわけ地方の過疎地域といわれる自治体にとって重要なものであり、地域の持続的維持のためのヒントであり、サポートという事においてもとても関心をもち耳を傾けることができました。今後、ハード事業はもちろんのこと、ソフト事業の充実こそがハード事業のニーズを生み出すものと考えておりますので情報共有を行いながら、当地域にマッチした事業を財団からもアドバイスをいただきながら進めて参りたいです。パネルディスカッションも同様に今後街づくりの参考にできる事例であり、大変学ぶ事が多い有意義なサミットでありました。

宮城県涌谷町 町長 遠藤 稔雄 様

自身2回目の参加ですが、B&G財団の地方の活性化を願う気持ちに触れて、ありがたく思います。国土の発展を謳う国是を財団が実践されているように感じ感謝を申し上げます。

福島県田村市 市長 白石 高司 様

本日のサミットへ参加して、その活動の幅広さが良くわかりました。今後は良く勉強をして、災害対応だとか、子育て、まちづくりについて取り組んで参りたいと思えます。今後ともよろしくご指導くださいますようお願い申し上げます。

埼玉県嵐山町 町長 佐久間 孝光 様

これからの町づくりに対して、夢と希望を持つことができました。感謝しつつB&Gの皆様にご指導を頂きたいと思えます。菅原理事長のメッセージは大変心強く感じました。

千葉県いすみ市 市長 太田 洋 様

3年ぶりの開催で、今日はどうなお話しがきけるのか楽しみでした。冒頭の日本財団理事長様のお話には感銘を受けました。日本がかつてない人口減少に直面している中、人口減少の自治体は地域活性に苦慮していますが、理事長様の「何を悩む、もっと前向きに考えなさい。みんなで努力すれば必ずその先に希望がある」と教えていただきました。その悩みを共に考え幸せな地域をつくるため、支援して頂けると話してくれました。私たちは今日から市民の幸せを実現することをもとに、未来を担う子ども達の笑顔作りに全力を尽くしてまいります。どうかB&G財団におかれましては、未来に向けた街づくりにご協力をお願い致します。

福井県若狭町 町長 渡辺 英朗 様

町長に就任して、初めてB&G全国サミットに参加させていただきました。まず、基調講演では、空き家活用と地域づくりについて、具体的な取り組み事例を知ることができ、大変参考になりました。次に、B&G財団の取組では、わかりやすい映像や素晴らしいプレゼンで、設立の趣旨や変遷を知ることができました。地域活性化と地方創成の5つのミッションについても、全てにおいて当町も課題であり共感できました。事業説明で詳細を把握した「熱中症対策事業」「偉人マンガの作成と活用事業」についても活用を検討したい。また、パネルディスカッションでは、3つの自治体の特性を活かした町づくりやSDGsの取組を学ぶことができ、町政に反映させていきたいです。今回のサミットは、「地域共創」を目指すことを決意できる充実した内容であり、大変有意義なサミットでした。

福井県大野市 市長 石山 志保 様

B&G財団設立50周年おめでとうございます。3年ぶりの開催となりましたB&G全国サミットもおめでとうございます。いつも自治体と子ども達、地域のためにお力添えをいただいておりますこと、ありがとうございます。50周年の節目にふさわしい、これまでを振り返り、新しい方針を示すわくわくするサミットでした。久しぶりの参加となりましたが、自治体の皆様がそろそろサミットはやはり良いですね。地方創成・地域活性化の方向性・取組事例としての基調講演、財団事業紹介もコンパクトに把握でき分かりやすかったです。私も、これからも当地海洋センターの情報発信につとめつつ、貴財団と共に活動を発展させていきたいと思っております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

長野県生坂村 村長 藤澤 泰彦 様

いつもお世話になっております。当村は体育館、プールと改修できたことに感謝申し上げます。2023年度も地域活性化のために多くの事業があり、当村の活性化、課題解決や方向性を見出すために活用できるか検討したいと思っておりました。当村は人口減少、少子高齢化に歯止めがかからないですが、山口様の講演を聞いて、少しヒントを感じましたので、実施できることから取り組んでみたいと思っております。

静岡県磐田市 市長 草地 博昭 様

市長就任2年目で初めて参加をさせていただきました。B&G財団の皆様の想いを感じ、自分の中でも刺激をうけ、また施設のこと以外にも子どもの居場所作り、偉人マンガなど考えたいことができました。是非、今後のご指導をよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

京都府南丹市 市長 西村 良平 様

いつも大変お世話になりありがとうございます。

本市は厳しい財政状況にあり、十分な取り組みはできておりませんが、市内の観光、体験、地域振興に海洋センターの理念を活かしていきたいと思っております。今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

和歌山県串本町 町長 田嶋 勝正 様

これだけ多くの市町村長が集まり、名刺交換できる機会がないなか、各首長の行政への取組など、コーヒープレイク中に、話しが出来て良かったと思います。地域活性化にむけたパネルディスカッションも良かったです。

島根県江津市 市長 中村 中 様

昨年7月に市長に就任しましたが、初めての全国サミットに出席させて頂きました。全国の様々な事例を教えて頂き、とても参考になりました。B&G財団の地域活性化への熱い思いを肌で感じる事が出来とても心強く、改めて感謝をしたいところでございます。これまで大変、本市はお世話になっておりますが、今後とも共に地域活性化のため何卒よろしくお願い申し上げます。

徳島県海陽町 町長 三浦 茂貴 様

日頃からB&G財団さまの取組で、海陽町の幼児から高齢者まで国民の皆様の心と体の健康づくりを推進して頂き本当にありがとうございます。海陽町海南B&G海洋センターは開設から20年間、常に町民に愛され続けてきました。そして今回経年劣化が進む中、外装や装置などの改修をさせて頂き、より安全なそして快適な施設となりました。コロナ過での町民の心の寄りどころはもちろんのこと、今後も町民の憩いの場や健康づくりの場として活用させて頂きたいと思っておりますので、引き続きよろしくお願い致します。

香川県三木町 町長 伊藤 良春 様

基調講演でのまちづくりの視点に感銘をうけました。多様で寛容なまちづくりの法則を受け、我が町にも取り入れられるものがあると感じていました。5つのミッションについては、どれも自治体が抱える課題であり、中でも子ども子育て支援やコミュニティ再生とまちづくりについては、私の町づくりにも重なり、今後活かして行きたいと思っております。

3つの市町の取り組みについても、それぞれが地域の特性を持続可能な町づくりへと歩みを進めていることに驚かされるとともに、魅力ある町づくりのため創意工夫が必要と強く思うところです。

福岡県みやこ町 町長 内田 直志 様

三年ぶりのサミットのご開催おめでとうございます。今回町長就任後初めて参加させていただきましたが、今サミットを通じてB&G財団の活動内容はもとより、活動への思い、理念などを知ることができ、それらは今後の地域づくり、ひいては日本の再生に不可欠なものであると、大変共感致しました。特に子供の健全育成は時代、国をこえて普遍的な国づくりのもとであります。そのことを再認識することができ、自治体の長として気持ちを新たにすることができました。ありがとうございました。

鹿児島県奄美市 市長 安田 壮平 様

本日、貴財団創立50周年を迎えられ、誠におめでとうございます。これまでの長きにわたる社会貢献・地域貢献の歩みに深く感謝と敬意を表します。この大きな節目に、財団名を改称されることも衝撃的でした。国民の皆様にしたしまれてきた「B&G」というお名前は、様々な意味をもっていると思います。貴財団の事業も含めて、多分野でのご活躍にご期待申し上げます。

■ 第15回「B&G全国サミット」参加副首長感想（一部抜粋）

岩手県陸前高田市 副市長 舟波 昭一 様

東日本大震災の発生から間もなく12年がたとうとしています。陸前高田市は大変な被害を受けましたが、全国の皆様からたくさんの温かいご支援をいただき、復旧・復興事業を終えることができました。陸前高田市B&G海洋センターは、多くの市民の活動の場となっております。ここに改めて、B&G財団様、全国の皆様に深く感謝申し上げます。全国の皆様とのつながりを深めながら、復興を果たしてまいります。どうか今後ともよろしく願いいたします。

鹿児島県薩摩川内市 副市長 永田 一廣 様

地方行政に携わる職として参加しました。財団の理念・使命などを拝聴し、地方都市の課題として十分共有できるところであり、興味深かったです。

基調講演については津屋崎ランチの山口氏の揺るがぬ信念のもと、着実に地域活性化していることうらやましく思いました。何よりもキーマンとなる人の存在、エネルギーが大切だと感じました。パネルディスカッションでは発表3市町とも、地域課題をしっかりと捉え知恵を出し、連携し、地方創成に取り組んでいる姿に敬意を表したいです。本市のまちづくりの参考としたいです。

3年越しのサミットに参加し、いろいろなことを考えさせられました。ありがとうございました。

■ 第15回「B&G全国サミット」参加教育長感想（一部抜粋）

北海道 新篠津村 教育長 荒谷 順一郎 様

新型コロナによる大会中止を乗り越え、開催・参加できましたこと大変うれしく思います。全国規模の大会ではありますが、工夫すれば開催できることを証明する大会になりました。今大会を参考にして、地元での各種イベントをやり遂げたい気持ちになりました。ありがとうございます。来年度も胸を張って参加できるよう地元でのB&G関連事業を盛り上げて参りたいと思います。今後ともご指導よろしくをお願いします。

秋田県潟上市 教育長 工藤 素子 様

3年ぶりの開催、関係者の皆様のご労苦に心から敬意を表します。大変有意義な研修機会であり情報交換の場であるこのサミットを心待ちにしていた1人です。50周年の記念すべき会に参加させていただき光栄に存じます。今回もまちづくり、地域づくりの視点から人づくりについて深く再考し、財団の貴い営みと取組を新たな情報として得ることができました。どの自治体も財政困難であることからこそ知恵や意欲というマンパワーに加え、財団からの様々な支援事業という財政的支援の両輪がかみあって、まちの発展があると考えます。本日いただいた学びをもちかえり、スタッフや市長部局とも情報共有しながら前進して参りたいと存じます。

秋田県大仙市 教育長 伊藤 雅己 様

子ども達の健やかな成長のために、たくさんの御支援をいただき誠にありがとうございます。また、こうした全国規模での交流や様々な実践、先進的事例によれる機会を設けていただき大変参考になります。少子高齢化をはじめ多くの課題解決のためには大変心強い存在であり貴重な機会ととらえております。今後ともよろしく願いいたします。基調講演の山口先生のお話は心にしみました。内容も興味深く話し方もとてもわかりやすかったです。大いに刺激をうけました。また、パネルディスカッションの3市町の取り組みも大変参考になりました。

福島県塙町 教育長 秦 公男 様

B&G財団50周年心よりお祝い申し上げます。今後益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。第15回B&G全国サミットはこれまで以上の内容の充実したサミットであったと感動しました。B&Gのこれまでの50年。そしてこれからの5つのミッションについて塙町としてもできるかぎり取り組ませていただきます。今後ともご指導をよろしく願いいたします。

埼玉県久喜市 教育長 柿沼 光夫 様

B&G財団前田会長、日本財団尾形理事長から財団が子供達を大切にした取り組みを重視していることを改めてお聞きし嬉しく思った次第です。今、ようやく少子高齢化に本格的に取り組むようになりましたが、単に税金を投入するだけでなく、子どもの立場をよく考えた少子化対策を推進したいと考えます。今後も青少年の健全育成と地方創生・地域共創に全力で取り組んでまいりますのでB&G財団の変わらぬご指導・ご支援をお願い致します。

静岡県沼津市 教育長 奥村 篤 様

寒波が心配されましたが、晴天に恵まれ、大盛會にて開催されなによりでした。設立50周年誠におめでとうございます。未来を担う子ども達が心豊かにたくましくしなやかに生きていく力を身に付けるために現在を生きる大人たちが一体となり地域が総がかりで支えていく使命と覚悟を持って尽力していくことを強く感じました。子どもにも大人にも輝く未来を目指し、B&Gの皆様と共に頑張っていきたいという気持ちがこのサミットに参加して改めてふつふつと沸いてきました。ありがとうございました。

静岡県川根本町 教育長 山下 齊 様

3年ぶりの開催ということで今日が初めての参加でした。全国の自治体関係者やB&G財団のみなさまが一堂に会し、交流や情報交換が成される機会としてたいへん貴重なサミットであると感じました。サミット内容はもちろんですが、プレゼン方法など目新しさがあり、参考になりました。ありがとうございました。

兵庫県淡路市 教育長 山本 哲也 様

基調講演はとても参考になり勉強になりました。地域創生に向けて市長に同じ話しを聞かれていますので、今日の講演を土台として共有して話が出来るのがとても楽しみです。11月9日に行われた研修でも広島県教育長様のお話をお聞きするなど、普段学ぶ事の出来ない大きな学びをこのB&Gのサミット、教育長会議から頂いています。大きな感謝です。この度50周年を迎えられたB&G様に心からお礼を申し上げますと共に、これからの益々のご発展を願っております。本当にありがとうございました。

島根県浜田市 教育長 岡田 泰宏 様

基調講演でご紹介いただいた福津市の事業は概ね当市でも課題と考え取り組みを進めているものでした。ただし、対象の明確化であったり実践の深掘りという点でまだまだ及ばないところがあります。プレイヤーがいることが何より素晴らしいです。拝聴した事例などを参考に当市の取り組みもさらに磨きをかけていきたいと思えます。ありがとうございました。また、5つのミッションはいずれも大切なことと思えます。理事長の熱い思いを感じることができ本市もこれから教育についてあらためて考えてみたいと思えます。

高知県四万十町 教育長 山脇 光章 様

コロナ過の中、あらためて健康維持・体力向上の基盤を支える海洋センターの活動に感謝、今回、「防災拠点の設置および災害時相互支援体制構築事業」を導入していただき共助・公助体制の強化につながりました。相互応援（後方支援）体制の強化にもつながり、平時からの安心安全な生活を目指す機運が高まっています。毎年の自然災害対応にも訓練等を通じ有効的な活用につなげていきます。サミットは初めての参加でしたが、B&G財団の地域に根ざした活動と社会貢献精神の熱量に感謝します。人口減少社会と変化の激しい時代の中、持続可能な地域づくりを支える海洋センター活動を今後ご指導よろしく願います。B&G財団50周年まことにありがとうございます。地域とともにあるB&G海洋センターのポテンシャルを更に引き上げる時代だと思えます。今後ともよろしく願いいたします。

鹿児島県与論町 教育長 町岡 光弘 様

事業説明からまだまだ本町としても子育て、教育文化振興の面からもっと検討し実態を調べ活用する必要があると感じました。基調講演においては、具体的な町づくりの実践が紹介されましたが、実践を通してたしかに人口増にもつなげていた。本物の人口定着にふるさとづくり(一人一人が主人公となり)をしている紹介はとてもよかったです。このようなことは今後も紹介してほしいと思います。また、パネルディスカッションも同様に大逆転(人口減少)の例として明るい取り組みがあります。地域により教育委員会と仕事分担を分けていたこともおどろきでした。そのような実態もお尋ねしたいと思うところでした。このことは市町村にとって役割分担について今日で考える場となりそうだと思うことでした。新しい学校建設(地域の課題と取り組める)の工夫もないのか、という点にも思いをはせることでした。

.....

第19回 「B&G全国教育長会議」

2022.11.9 (水)

これからの学校教育
～学校と地域の視点から見る課題解決～

■ 第19回「B&G全国教育長会議」概要

これからの学校教育 ～学校と地域の視点から見る課題解決～

全国42道府県から、教育長ほか過去最多となる186名が出席！

2022年11月9日（水）東京都千代田区の霞が関プラザホールにて第19回「B&G全国教育長会議」を開催しました。当日は、B&G海洋センターの所在地42道府県の市町村教育長171名を含む教育関係者等、過去最多となる186名が出席。

本会議では、不登校児童生徒に係る自治体の取り組みや支援策などについて、広島県教育委員会 平川教育長の基調講演をはじめ、先進的な取り組みを行っている教育長による事例発表などを実施しました。

第19回「B&G全国教育長会議」次第

日時：2022年11月9日（水）13：00～16：30

場所：霞が関プラザホール

1. 主催者挨拶
2. 来賓挨拶・紹介
3. 正副会長挨拶
4. 基調講演
「今後の公教育の未来について～広島県の『学びの変革』の取り組みから～」
広島県教育委員会 教育長 平川 理恵 様
5. 教育長事例発表
 - ①東川町の不登校支援
北海道東川町 教育長 杉山 昌次 様
 - ②多様性が高まる社会においてその一人の子の心に届く教育をどう構築するか
～不登校支援を通して～
岐阜県高山市 教育長 中野谷 康司 様
6. 文部科学省の取り組み
「不登校児童生徒に係る現状や支援策について」
文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導室長 小林 雅彦 様
7. B&G財団事業説明
8. B&G全国教育長会議「提言」
9. 総括

◎出席者内訳

大別	区分	名数
海洋センター関係	教育長	171名
	代理	15名
	随行	44名
	来賓	7名
その他	報道関係	4社
合計		241名



〈来賓挨拶 日本財団 尾形理事長〉



〈質問の飛び交う教育長会議〉



〈平川教育長の基調講演で質問する教育長〉



〈会場の様子〉

■ 主催者挨拶



B&G財団 会長 前田 康吉

皆さん こんにちは。B&G財団会長を務めております、北海道滝川市長の前田でございます。

本日は第19回「B&G全国教育長会議」を開催いたしましたところ、公務ご多用のなか、過去最多となる全国から171名の教育長様をはじめ、総勢240名を超える皆様にご出席頂き、心よりお礼申し上げます。

昨今、新型コロナウイルスの感染状況も、減少傾向にあり、ようやく外国人の入国や多くの経済活動が活性化しつつあります。

そのような状況により、本日の対面の会議にも多くの教育長の皆様にご参加頂き、教育行政の今日的課題について、一緒に学んでまいりたいと思います。

さて、本会議のテーマは「これからの学校教育～学校と地域の視点から見る課題解決～」でございます。

近年、不登校の児童生徒数が過去最多となっている現状や、教育現場の働き方改革への対応など、学校と地域が一体となって課題に取り組むことが不可欠となっております。

そこで、本日は先進的事例として、「今後の公教育の未来について」と題し、広島県教育委員会の平川理恵教育長に基調講演を頂くとともに、学校現場で抱える課題について、海洋センター所在自治体の事例発表、文部科学省からの報告などを頂きますので、是非参考として頂きたいと思います。

なお、誠に残念ですが、新型コロナウイルス感染予防の観点から本日、懇親会は実施いたしません。しかし、会議の途中で簡単なブレイクタイムを用意しておりますので、情報交換の場として頂ければ幸いです。

終わりに、本日の会議が実り多いものとなることを期待するとともに、B&G財団への引き続きのご理解、ご協力をお願い申し上げ、開会の挨拶とさせていただきます。ありがとうございました。



■ 基調講演

今後の公教育の未来について ～広島県の「学びの変革」の取り組みから～



広島県教育委員会 教育長 平川 理恵 様

私はいつも「根源・長期・多様」を意識して、今実施している教育を俯瞰して考えるようにしています。

真に主体的・対話的で深い学びを実現するために現場主義を貫き、様々な選択肢を作り出し、いいと思ったこと、できることをどんどんやっていく、これまで校長として「おかしい」「変えたい!」と思っていたことを変えていくことをミッションにしています。

組織風土を変えるため、就任後すぐに、学校に行き気づいたことなどを書いた、手書きの瓦版「平川通信」を作って、執務室やトイレなどの公共スペースに掲示したり、「教育長と一般教員がざっくばらんに語る会」を何度も実施しました。また、視覚的に伝えることが大事だと考え、市町の教育長や指導主事、教員と一緒に、オランダのイエナプラン教育やアメリカのビジネスハイスクールをはじめ、国内外の先進事例視察などを行いました。

2019年4月には国際バカロレア認定を受けた、全寮制の中高一貫校「広島県立 広島叡智学園」が開校しました。2022年4月にイエナプラン教育を取り入れた「福山市立 常石ともに学園」も開校し好評を得ています。この学校は1年生から3年生までが混在したグループで学級編成され、それぞれに合った方法で自立的に学習を進めています。複式学級を有する学校での導入が可能だと思いますので、ぜひ見に来てください。

不登校対策では、2021年度から学校内の別室を使ってSSR（スペシャル・サポート・ルーム）を設置しました。教員不足を補うため、指導主事が直接学校を訪問するとともに、「オンライン部活」を開始しました。

このオンライン部活が活発になる中で、リアルとオンラインのどちらでも繋がれる場を提供したいとの思いから、2022年度に「School S」を設置しました。自治体の古い現有施設を指導主事などスタッフが自ら改修を行い、児童生徒が居心地の良い空間を作って、一人一人に合った多様な学習機会を提供しています。学校が地域の民度を定める、地域教育を担っているという観点から、特例校とはせずに運営しています。

商業高校のアップデートにも取り組み、生徒に「生きるって何？」を問うことから始めるビジネス探究プログラムの開発や、全教員を対象にブルーム分類学に基づく「本質的な問い」研修を実施しました。現在では工業高校、農業高校でも行っており、将来的に広島県で商業・工業・農業のバリューチェーンを繋ぎたいと考えています。

また、コミュニティ・スクールの100%設置や、子どもに関するわいせつ・セクハラに対する懲戒処分の指針の厳格化、教育委員会事務局内の女性管理職比率や女性校長比率の引き上げ、公立高等学校入学者選抜制度の改新などにも取り組んできました。

本日お集まりの教育長の皆さんと一緒に、教育を変えていければいいと思っています。

■ 事例発表

①東川町の不登校支援

2021年4月から学校内に不登校児童生徒向けの支援室を設置し、教員と支援員を配置しました。支援室の利用者が増加傾向にあったことから、2021年12月にふるさと交流センター内に教育相談室「はあとるうむ」を設置。元中学校長や元体育教師をスクールソーシャルワーカーとして配置し、学校外に保護者相談や児童生徒を指導する場を設けました。2022年4月からは教育支援室に格上げし、支援員を追加配置することで保護者相談している際にも児童生徒の指導ができるようになりました。7月からは海洋センターを使ってバトミントンや水泳などの指導を開始しています。

成果として、数名の児童生徒の再登校や部分登校、学校行事への参加に結び付けることができたこと、定期的な相談により保護者の心の負担を軽減できたことなどが挙げられます。また、海洋センターでの運動を通じて、生活リズムの改善、対人関係の向上などにつながっており、今後は冬季スキー学習なども取り入れていきたいと考えています。これからも児童生徒の心身の状態の改善を図り、一人一人に寄り添った支援を継続していきます。

北海道東川町 教育長 杉山 昌次 様



②多様性が高まる社会においてその一人の子の心に届く教育をどう構築するか ～不登校支援を通して～

高山市では地域の実情に即したアウトリーチ型の支援として、教育支援センターの拡充を図っています。今年度は、主幹教諭や支援スタッフを増員し、家庭訪問や校内支援教室、オンライン授業を充実させ、適応指導教室「であい塾」の支援の拡充を図るほか、保護者支援として地域巡回相談・講演会などを実施しています。特に、適応指導教室「であい塾」の支援拡充では、新たに“つなぐ&出向く”をコンセプトに「移動であい塾」を市内3カ所に設置し、これまで通えなかった子どもを支援する体制を整備しました。

海洋センターでは、体育館と研修室を利用して、不登校児童が希望したバスケットボールと算数の学習が行える環境を整備。身近な場所で支援を行えるようになったことで、児童が運動を楽しめるようになり、学習時間も徐々に増加したほか、保護者の不安解消にもつながっています。また、多様な支援が必要になるため、「であい塾友の会」を発足し、退職校長会や地域支援グループをはじめ、100人を超える方に会員登録いただくなど、外部連携にも力を入れています。児童生徒の受入人数や指導者の確保、オンライン授業と対面支援のバランスなど様々な課題はありますが、今後も不登校児童生徒に対する教育機会の確保・支援にしっかり取り組んでいきます。

岐阜県高山市 教育長 中野谷 康司 様



■ 文部科学省の取り組み

不登校児童生徒に係る現状や支援策について

文部科学省 初等中等教育局 児童生徒課 生徒指導室長 小林 雅彦 様

小・中学校における長期欠席者のうち、不登校児童生徒者数は244,940人、児童生徒1,000人当たりの不登校児童生徒数は25.7人となっており、全体の人数、千人当たりの人数ともに9年連続で増加し、深刻な状況となっています。

私は基本的に学校に来てもらうことが第一だと考えていますが、コロナ禍の影響で入学式や運動会などが行われず、またオンライン授業の導入等によって、登校意欲が湧かなくなった、無理して行かなくてもいいのではないかと、学校に行かない選択肢ができてしまっているのではないかと懸念しています。

次年度は、不登校児童に対する支援推進事業として、「校内教育支援センターの整備促進」「教育支援センターにおける多様な相談・支援体制の強化（アウトリーチ型支援等の実施）」「不登校特例校の設置準備・運営支援に関する支援」などの事業を推進していきます。

その中でも、不登校特例校の設置をお願いしたいと思います。特例校の設置に関して、次年度は新規で予算要求しており、設置準備に関する経費や開設後の円滑な運営に関する経費、広報活動に関する経費などについて支援することができます。私も各地の特例校を視察しましたが、統廃合型より分教室型の方が教員の配置なども含め、設置しやすいのではないかと思います。

そのほか、スクールカウンセラーの全公立小中学校（27,500校）への配置、スクールソーシャルワーカーの全中学校区（10,000中学校区）への配置、学習指導員の拡充など、教育相談体制の充実を図り、不登校児童生徒への多様で適切な教育機会の確保のため、幅広い支援を行っていきます。



■ 第19回「B&G全国教育長会議」の提言

「B&Gプランを推進する提言」

- 一. 自然体験活動を実践する「指導員の養成」と「B&G指導者会の設立」推進
- 一. 地域と学校の連携強化
- 一. 海洋性レクリエーション事業の推進
- 一. 親子・家族の絆の推進
- 一. 海洋センター・クラブの活用
- 一. 環境・防災・水辺の安全教育の推進
- 一. すべての子どもたちへの体験機会の提供
- 一. 誰もが参加できる海洋センター活動の推進
- 一. 海洋教育の積極的推進
- 一. 変化に適応する「生きる力」の育成
- 一. SDGs達成に向けた取り組みの促進

第19回

一. 地域ぐるみの教育の推進

家庭・学校・地域の人々などが協力し、地域の宝である子供たちを平等で豊かに育てよう

2022年11月9日

19回目を迎えた「B&G全国教育長会議」での提言は「地域ぐるみの教育の推進」を提案します。複雑化・多様化する現代社会において、子どもたちに有益な教育を提供するためには、これまでの学校完結型の教育ではなく、家庭や地域の資源・人材の活用が不可欠です。

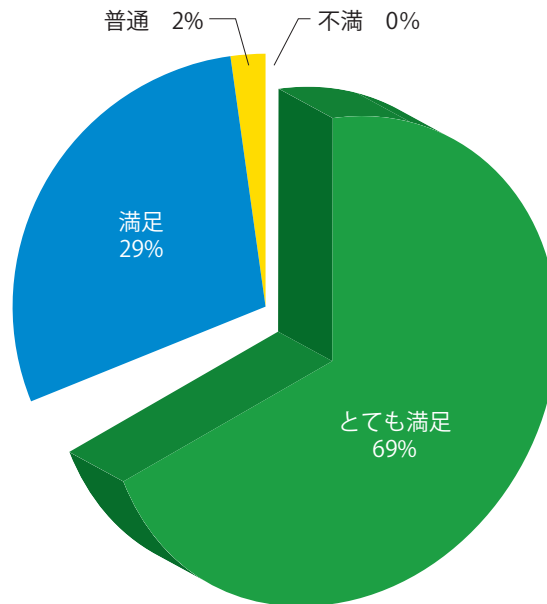
「B&G海洋センター」を有する自治体においては、どこよりも積極的に「地域ぐるみの教育の推進」を実践していき、地域の宝である子どもたちを平等で豊かに育てていくことが確認されました。



■ 事後アンケート結果

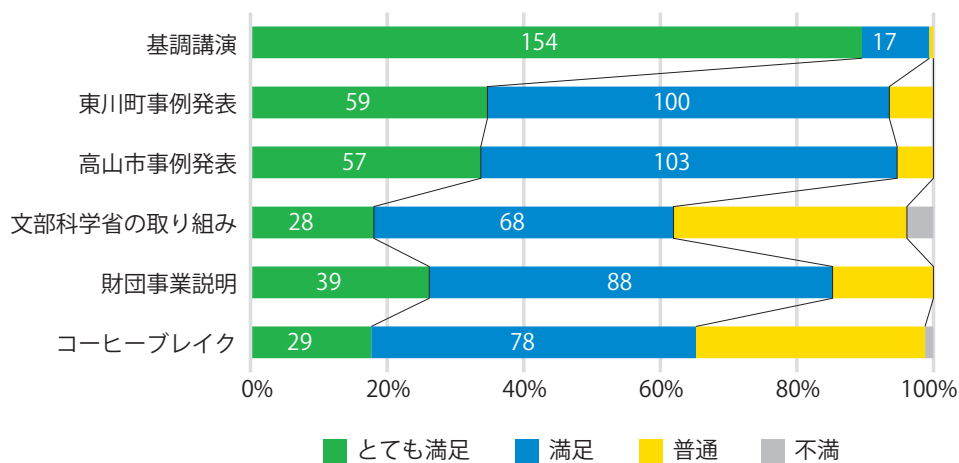
①95%を超える参加者の満足度

昨年に引き続き、万全の新型コロナウイルス感染防止策を講じ、2日間の予定を1日間に短縮して開催。交流会も中止としましたが、参加した教育長様から好評の声を多く聞くことができました。



②各プログラムの満足度

全体的に高い満足度を得ていますが、特に基調講演に関しては99%の教育長様が「とても満足」「満足」と回答しており、現在の教育現場の課題に適したテーマを設定できたことが伺えます。また、併せて事例発表でも実際に取り組んでいる現場の声を伝え、より具体的な取り組みを提示することで、好評を得ることができました。



■ 第19回「B&G全国教育長会議」を終えて

「B&G全国教育長会議」会長 千葉県成田市 教育長 関川 義雄 様



コロナ禍にあっても対面での会議を開催していただけたことに感謝申し上げます。今回のテーマは、「地域ぐるみの教育の推進」でした。基調講演では、広島県の教育長を務めていらっしゃる平川理恵氏のお話を伺いましたが、今まさに広島県で取り組んでいるホットな内容であり、次から次へと湧き出るアイデアは、「おかしいと思ったら変えていく」という姿勢から生み出されていることが分かり、多くの変革に取り組んでいる姿に共感したところです。B&G全国教育長会議では積極的にこうした講演や実践報告を全国の教育長に示し

て下さっており、私も参加するたびに新たな刺激を頂き、自分自身を振り返ることができる貴重な1日となっています。

「B&G全国教育長会議」副会長 大分県中津市 教育長 栗田 英代 様



今回もたいへん多くのことを学ばせていただきました。

基調講演では、今後の公教育の未来について描き、教育改革に挑戦し続ける力強い勇気を、また、事例発表では、本市においても課題となっている不登校支援について多くの参考となる事例を紹介していただきました。財団からの事業報告等も、その事業に託す思いや願いを直接お聞きすることで、とても有意義でした。

本全国教育長会議により、全国の自治体とつながり、学びの機会を得られることは、たいへん貴重であり楽しみでもあります。あらためて、機動性と持続性を意識しながら、公教育の充実に尽力していきたいとの思いを強くいたしました。ありがとうございました。

「B&G全国教育長会議」副会長 岡山県奈義町 教育長 和田 潤司 様



コロナ禍の中、関係者の皆様のご尽力により、第19回「B&G全国教育長会議」が全国186自治体教育長の出席のもと開催されましたことに心より感謝申し上げます。

毎回、タイムリーな基調講演、素晴らしい事例発表が拝聴できますことを楽しみに参加させていただいておりますが、今回の基調講演も、全国が注目する広島県の教育改革を行われた平川理恵教育長の、情熱あふれる実践の数々をお聞きすることができ、多くの学びをいただきました。特に、「公立校は地域の民度を定める」というお言葉に、改めて職責の重さを感じ、身の引き締まる思いがいたしました。

次回も、多くの教育長の皆様と共に有意義な会が持てますことを楽しみにして、日々の実践に取り組みたいと思います。

■ 第19回「B&G全国教育長会議」参加者感想（一部抜粋）

●宮城県蔵王町 教育長 文谷 政義 様

3年ぶりの全国教育長会議の開催、本当にありがとうございます。広島県の平川教育長先生の理論に基づいた実践の素晴らしさにとても感動し、できることは参考にさせていただきたいと思います。東川町の取り組みは、本町でも取り組んでいることともつながるもので参考になり、意欲を高めさせていただきました。高山市の取組は、移動であい塾の取り組みが素晴らしいと思いました。とても素晴らしい研修の機会をいただき、心より感謝申し上げます。

●山形県舟形町 教育長 伊藤 幸一 様

本日は来賓挨拶での尾形理事長の子どもの教育は学校だけではないといった熱いお話や、平川教育長の教育活動ベースにある大切な観点をご講演頂き、感謝しております。明日からの教育活動に元気を頂きました。本当にありがとうございました。

●福島県塙町 教育長 秦 公男 様

基調講演、平川教育長の新たな視点での学びの変革の取り組みは大変参考になりました。可能な限り取り入れてまいりたいと思います。教育長事例発表は、B&Gの施設を活用している点は大変参考になりました。

●茨城県小美玉市 教育長 羽鳥 文雄 様

本日は会議に参加させていただき、また大変お世話になりありがとうございました。本市の課題であり、全国的な課題でもある「不登校問題」について、他自治体の教育長様の熱い思いや願い、そして具体的な取り組みの話聞くことができ、大変刺激を受けました。B&G財団様におかれましては、今後とも学校教育の充実や子どもたちの成長支援のためにご指導・ご支援をよろしくお願いいたします。

●千葉県成田市 教育長 関川 義雄 様

平川教育長のご講演は一言で言って「やる気」を出させる熱弁であったと感じました。特に「これはおかしい」と思ったら変えていく、という姿勢は私たち教育長にとって最も大切なことだと改めて感じさせていただきました。知りたいと思ったらすぐにでも確かめに行けばいい、その実践力も私たちに必要な資質だと思います。久しぶりの対面での研修、とても良い機会を与えて頂きありがとうございました。

●新潟県胎内市 教育長 中澤 毅 様

コロナ禍の開催本当に感謝申し上げます。4回目の参加となりますが、本当に内容の濃い研修で有難く思っております。特に講演会の講師は毎回タイムリーなトップライダーの話をお聞きでき、出席して本当に良かったと思っております。今後どうぞよろしくお願い致します。

●新潟県佐渡市 教育長 新発田 靖 様

外からの視点を様々に聞けることで大変勉強になります。これからもこのような機会を作っていただけるとありがたいです。エネルギーをいただきました。

●富山県高岡市 教育長 近藤 智久 様

不登校支援については本市においても喫緊の重要課題の一つです。本市では小中一貫教育を核とした学校編成を進めており、そうした中、空き校舎を活用した教育支援センター機能の拡充を図りたいと考えております。本日の講演、実践事例をぜひ参考としながら、また他市町村の教育長様方からのお知恵もお借りしながら取り組んでまいりたいと存じます。本市の取り組みをどうアレンジしブラッシュアップし進化させていくかを真剣に考えたいと思いました。

●静岡県川根本町 教育長 山下 斉 様

初めて参加させていただきました。平川先生の講演は大変勇気をいただけるものでした。事例については、それぞれの自治体でその地に合った取り組みを工夫しながら推進されていることが伺え、当町においても地域の特性や人口構成などを考えながら、特色ある取り組みを今後も続けていきたいと思えます。今後ともよろしくお願いいたします。本日はありがとうございました。

●滋賀県高島市 教育長 上原 重治 様

昨年も山野氏の基調講演は大変参考になりましたし、今年も平川氏の講演は大変参考になりました。教育長会議で自らの方向性を定める大変参考になる内容で感謝しています。今後も引き続き貴重な学びの場を提供していただきますようお願いします。なお、平川氏のお話はこれまでからずっと待ちわびていたものでしたので大変満足しています。

●兵庫県上郡町 教育長 三木 一司 様

久しぶりの開会にたくさんの教育長の出席に驚きました。基調講演等の内容にも満足しました。日本財団尾形理事長のお話にも思い出し考えさせられることが多々ありました。顔見知りの教育長ともお話しすることができましたし、やはり対面での会議は良いと再認識しました。

●岡山県鏡野町 教育長 武本 吉正 様

広島県平川教育長の講演に大変感銘を受けました。教育に向かう姿勢、現場目線で子どもたちを中心に考えた各施策のアイデアと実行力等、大変参考になりました。また、教育長事例発表では身近な課題を共有でき、本町でも取り組みが検討できそうな事例を今後持ち帰って検討を深めたい。

●広島県安芸高田市 教育長 永井 初男 様

まず会長もお話しされたように、このコロナ禍の中対面での全国教育長会議を開催頂き感謝申し上げます。本教育等会議で主に取り上げていただいた不登校も本市の大きな課題となっており、教育長事例発表もとても参考になりました。

●香川県三木町 教育長 森 正彦 様

他県の市町との交流や情報交換の場はほとんどないため、教育長会議を開催してくれることは大変ありがたい。今回も大変いい刺激になり、新たな意欲がわいてきた。中学校部活動の地域移行に向け、指導者の育成や派遣についてもぜひお願いしたい。

●高知県香美市 教育長 白川 景子 様

今回初めて参加しました。内容が充実していて大変参考になりました。当市も平川教育長ご指摘の通り、IB教育・イェナプラン導入により、多様な教育の実現を目指しております。具体的な方法についてもイメージできました。次年度も新しい教育のあり方へのご指導をいただけるお話を伺えればありがたいです。

●宮崎県宮崎市 教育長 西田 幸一郎 様

講演された平川教育長のバイタリティーに刺激を受け、もっと子どもたちのために頑張ろうと思いました。発表していただいた2市町の教育長様にも参考となる事例を聞かせていただき課題の共有ができたところです。今後も不登校対応の充実に努めていこうと思います。

●鹿児島県いちき串木野市 教育長 相良 一洋 様

広島県教育委員会平川理恵教育長の民間校長から見た視点などに感銘を受けました。「根源・長期・多様」この3つの言葉の裏には深い教育への思いと実践からの手腕を感じました。今後の教育長としての勇気と行政への定義として指導していただきありがとうございました。

●沖縄県うるま市 教育長 嘉手苺 弘美 様

今一番大きな課題となっている不登校支援について多くのヒントを得られた。特に平川教育長の基調講演は、教育長としてこれからやるべき方向性が見えてきた。企画してくださったB&G財団の皆様に感謝です。ありがとうございました。

●沖縄県名護市 教育長 岸本 敏孝 様

本日は貴重な学習機会を提供いただき感謝申し上げます。公教育の未来については本質的なものは変わらず、自己実現へと進んでいく学びのプロセスの重要性を確認させていただきました。根源・長期・多様の視点で俯瞰に見ながら厳しい現状を切り開いていくダイナミズムに感銘しました。事例発表では、不登校支援に係る専門性を有する人材の確保や継続可能な支援体制の構築について多くの示唆を与えていただきました。ありがとうございました。

第5回 「B&G全国指導者会 記念総会」

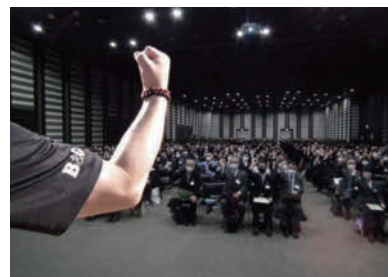
2023.2.3 (金) — 2.4 (土)

～未来を担う子どもたちのために 地域にとどけよう笑顔と元気～

■ 第5回 B&G全国指導者会 記念総会 開催概要

2023年2月3日、4日、ベルサール汐留にて、第5回 B&G全国指導者会 記念総会が開催され、全国から646人のB&G指導員及び海洋センター・海洋クラブの担当者が参加しました。

B&G指導員や子供たちの活動の様子がわかるオープニングムービーから開会し、役員選任や次期活動方針・活動目標の議案を諮るとともに、若手指導員のモチベーションアップを目的とした日本財団笹川会長褒賞をはじめとする各種褒賞を実施しました。



第5回「B&G全国指導者会 記念総会」次第

日 時：2023年2月3日（金）13：30～17：10

2月4日（土）9：00～12：30

会 場：ベルサール汐留 2Fイベントホール

〒104-0061 東京都中央区銀座8-21-1 住友不動産汐留浜離宮ビル

対 象：全国386自治体のB&G指導者（地方公務員など）、海洋センター・海洋クラブ担当者

参加費：10,000円（税込）

1日目

オープニングアクト 和太鼓 大元組

開会 オープニング映像放映

主催者挨拶 B&G財団 会長 前田 康吉

開会挨拶 全国指導者会 会長 工藤 祐直

来賓挨拶 日本財団 理事長 尾形 武寿 様

基調講演

女子バレーボール元日本代表 益子 直美 様

「監督が怒ってはいけない理由」

議案審議

第1号議案 役員の選任について

第2号議案 次期活動方針・活動目標について

ブロック対抗 フィジカルテスト

日本財団 笹川会長褒賞

プレゼンター

日本財団 専務理事 前田 晃 様

B&G指導員及び指導者会褒賞

B&G指導員ゴールド褒賞

B&G指導員シルバー褒賞

B&G指導者会褒賞

2日目

総会2日目オープニング

B&G財団 理事長 菅原 悟志

指導員研修 講義①

桐蔭横浜大学大学院 スポーツ科学研究科

コーチング講師 渋谷 崇行 氏

選手の「やる気」をいかにして高めるか引き出すか！

指導員研修 講義②

株式会社食の学び舎くるみ

代表取締役 中野 ヤスコ 氏

心とカラダを支える「スポーツ食育」のススメ
事例発表

海洋ごみ清掃活動

香川県小豆島町 酒井 喬史 氏

食品ロス削減活動

兵庫県豊岡市 柳田 洋輝 氏

大分県由布市 生野 祥希 氏

閉会挨拶 B&G財団 常務理事 古山 透



公益財団法人
ブルーシー・アンド・
グリーンランド財団

会長 前田 康吉

第5回「B&G全国指導者会記念総会」へのご出席、誠にありがとうございます。

B&G指導員の皆さまには、日頃から、海洋センター・海洋クラブにおいて、青少年の健全育成、地域住民の健康づくりをはじめとする、B&G財団の諸事業に多大なるご支援ご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

また、「B&G全国指導者会」工藤会長をはじめ、各責任者の皆さまには、子どもたちへの自然体験機会の提供や指導者研修の実施など、当財団と連携した事業展開にご尽力いただき、重ねてお礼申し上げます。

さて、2020年初頭から始まった新型コロナウイルス感染症は、全国の社会経済活動に大きな影響を及ぼしております。当然ながら「海洋センター」「海洋クラブ」の活動も制限されましたが、皆さま方の今までの経験や知見・創意工夫、何より“未来を担う子どもたちのために”との熱い思いにより、可能な範囲で活動を継続いただき、今では感染症拡大前の利用者人数に戻ってまいりました。

今後も、適切な感染症対策を講じながら行動する必要がありますが、指導員の皆さまには、地域のため、住民のために引き続きのご尽力をお願いいたします。

B&G財団は本年3月、関係各位の永年のご理解ご協力により設立50周年を迎えます。

それに合わせ、先日開催しました「第15回B&G全国サミット」において、2023年度からの中長期計画を発表いたしました。

これからは、「地域社会の健全な発展」という大きな目標を財団の「定款」に明示し、地域課題の解決に向け、これまで以上に各種事業を推進してまいります。

目標達成のためには、全国指導者会をはじめ指導員一人一人のご理解、ご協力が必要不可欠です。

ぜひとも、今回の第5回記念総会におきまして、新たな目標や活動方針などを共有いただき、“更なる高み”に向け、ともに活動してまいりましょう。



B&G全国指導者会
会長
青森県南部町長

工藤 祐直

「第5回B&G全国指導者会記念総会」の開催にあたり、過去最高となる660名を超える全国のB&G指導員およびB&G地域指導者会の皆さまにご出席をいただくことができました。皆様方の熱い志と行動力に感謝申し上げます。

我々「B&G全国指導者会」は、“未来を担う子どもたちのために地域にとどけよう笑顔と元気”をビジョンに、水辺の自然体験活動と安全教育の実践を通じた地域社会への貢献活動を展開してきました。そして、現状の活動状況や今後の方針などを共有するため3年に一度、全国のB&G指導員が一堂に会する総会を開催してまいりました。我々の活動の節目となる第5回記念総会は、本来ならば昨年2月に実施する予定でしたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、開催を一年延期することとし、ようやく本日を迎えることができました。

コロナ禍における子どもたちの体力低下、海ごみに代表される自然環境問題、年々増加する食品廃棄など、地域の社会環境は目まぐるしく変化しています。今回の総会では、このような社会の変化に対応し、地域の社会貢献に寄与する新たな方向性と活動目標を示させていただきます。会員の皆さまには、B&G全国指導者会の一員としての自覚と誇りのもとに、変わらぬ情熱をもって、我々の目標とする重点事業に全力で取り組んでいただくとともに、地域での指導の担い手づくり、後進の方々へのノウハウ継承を含め、幅広く人材育成に注力いただければと思います。

今まで培ってきた経験とこれまでに築いてきた強固なネットワーク、連携力を活かし、地域の発展に貢献するために更なる歩みを進めてまいりましょう。

■ 設立経緯

2007年 海洋性レクリエーションの普及などが盛り込まれた「海洋基本法」が施行され、国をあげて、国民の海への理解を行うことなどが責務となりました。また、「教育基本法」の改正や政府による「青少年体験活動総合プラン」などの取り組みにより、青少年の健全な発育に対して、自然体験活動の重要性が高まりつつありました。

しかし、四方を海に囲まれた日本では、2009年の水難者は1,905人、うち子供は396人であり、水の事故への対策が喫緊の課題でした。

2010年 1月16日 B&G全国指導者会 設立

未来を担う子どもたちのために、「自然体験活動」と「水辺の安全教育」の推進に向けて、B&G指導員の力を集結し、新たな挑戦に歩みだしました。

当時17,000名の指導員を擁し、自治体とのネットワークを強固なものにしていたB&G財団は、水の事故を防止し、水辺での自助意識を醸成する活動を全国展開していくこととしました。

【設立趣旨】

B&G海洋センター・海洋クラブの活動を通じた地域の活性化と、青少年の成長に重要な「自然体験活動」と自助意識を養う「水辺の安全教育」などの推進により、未来を担う子どもたちの健全育成に貢献する。

■ 4か年の活動報告（2019年度～2022年度）

◆海洋性レクリエーションの実施

2021年度 海洋センター実施率 **100%達成**

◆水辺の安全教室の実施

2019年度 過去最多体験者数 **22万人**

◆リーダー資格養成者

1987年以降の最多人数更新

リーダー資格者 養成人数 **563人**（2019年度実績）

B&G指導員 **21,000人超**（CE,LE等含む）

◆海洋性レクリエーション実施支援

SUP無料貸出 **477艇** 利用者人数 **4,649人**

BIG SUP配備 **260事業** 利用者人数 **8,350人**

◆災害への支援

2019年 8月 **がんばろう岡山！海遊び・マリンスポーツ体験**
参加者人数 **104人**（岡山県浅口市）

2020年 8月 **がんばろう千葉！海遊び・マリンスポーツ体験**
参加者人数 **90人**（千葉県御宿町）



■ B&G全国指導者会 ビジョン・基本方針・活動目標

ビジョン (2023年度～2025年度)

未来を担う子どもたちのために 地域にとどけよう 笑顔と元気

基本方針 (2023年度～2025年度)

1. 地域指導者会の充実と会員の資質向上

- ・高齢者をはじめ地域住民を対象とした「リーダー研修」の開催など、新規会員の獲得に努めるとともに、他の地域指導者会と連携協力し、指導者会活動と組織の充実を図る。
- ・ブロック別指導員研修会の参加、地域指導者会で研修会実施、普通救命講習への参加など、指導者の資質の向上と自己研鑽に努める。

2. 海洋センター・クラブを拠点とした地域の活性化

(1) 自然体験活動の実践

- ・子どもたちや地域住民への海洋性レクリエーションや地域の自然環境などの特性を生かした様々な自然体験活動を行うとともにインクルーシブな体験活動を実践していく。

(2) 次代を見据えた地域貢献活動の実践

- ・海洋ごみの削減や食品ロスの解消に向けた取り組み、地域の課題に貢献する活動を積極的に推進する。

3. 活動の情報発信

- ・地域指導者会の活動情報を紙媒体やSNS等を活用して発信し、地域住民に周知を図る。

4. 災害時等における相互支援

- ・自然災害等により海洋センター所在市町村が被災した際は、可能な範囲で被災地域の復興に対する応援・協力を行う。

2023年度 活動目標

「地域の発展に資する新たなチャレンジ」

従来の活動にとらわれず、他団体などと連携して、地域の発展のために新たな貢献活動を展開する。

1. 地域の特性を活かし、四季を通じた自然体験活動による郷土教育の推進
2. 他団体と連携協力した食品ロス削減活動への協力

基本方針に基づく「継続活動」

1. 海洋性レクリエーションの実施
 - ・「海洋性レクリエーション体験」及び「水辺の安全教育実技プログラム」の年1回以上実施
2. 海洋ごみの削減に向けた「啓発活動」及び「清掃活動」の実施
 - ・事業参加者への「啓発活動」及び海洋センター周辺等での「清掃活動」の年1回以上実施
3. ブロック別指導員研修会への参加
 - ・ブロック別指導員研修会への年1回以上参加

B&G全国指導者会 組織体制

執行部

役職	氏名	所属	研修期	写真
会長	工藤 祐直	青森県 南部町名川	第11期 センター育成士	
副会長	曾根 由多	静岡県 牧之原市相良	第14回 アドバンスト	
副会長	工藤 陽平	熊本県 湯前町	第12回 アドバンスト	
副会長	中島 博臣	B&G財団	第14回 アドバンスト	
東日本アドバイザー		西日本アドバイザー		
	川島 正光 埼玉県 久喜市栗橋／第19期センター育成士		金久 博 徳島県 阿南市／第7期センター育成士	

ブロック責任者

ブロック	氏名	写真	ブロック	氏名	写真
北海道	長尾 美和 北海道 大空町女満別 第3回センター・インストラクター		近畿	前谷 光宣 兵庫県 南あわじ市南淡 第7回アドバンスト・インストラクター	
東北	清野 昭雄 福島県 小野町 第9回アドバンスト・インストラクター		中国	阿瀬川 文輝 島根県 浜田市三隅 第11回アドバンスト・インストラクター	
関東	林 登紀枝 群馬県 みなかみ町 第36期 センター育成士		四国	佐倉 亮 香川県 池田海洋クラブ 第17回アドバンスト・インストラクター	
北陸	飯田 史哉 福井県 大野市 第3回センター・インストラクター		北九州	中村 大悟 大分県 中津市耶馬溪 第11回アクア・インストラクター	
中部	増田 一樹 静岡県 掛川市 第15回アドバンスト・インストラクター		南九州	笠 健 熊本県 南阿蘇村白水 第11回アドバンスト・インストラクター	

新設 日本財団 笹川会長褒賞

「B&G海洋性レクリエーション指導員」のうち指導員資格登録10年未満の若手指導員を対象に、海洋センター・海洋クラブの運営に携わり、特に顕著な功績があった者を褒賞し、若手指導員のモチベーションアップ、B&G指導員の価値向上を図るものです。

No.	ブロック	道府県	センター名	氏名	資格	取得年度 期・回
1	中国	山口県	周防大島町B&G海洋センター	岡本 祐子	AD	15回



優良指導員・指導者会褒賞

◆B&G指導員 ゴールド褒賞 12名

No.	ブロック	道府県	センター名	氏名	資格	取得年度 期・回
1	北海道	北海道	小平町B&G海洋センター	道添 透	インストラクター	1997年度
2	東北	宮城県	蔵王町B&G海洋センター	森 良光	センター育成士	19期
3	関東	群馬県	玉村町B&G海洋センター	和田 光彰	AQ	8回
4	北陸	石川県	七尾市B&G海洋センター	岩本栄三郎	センター育成士	36期
5	中部	静岡県	掛川市B&G海洋センター	久保 徹	インストラクター	1992年度
6	近畿	兵庫県	丹波市山南B&G海洋センター	大嶋 学	センター育成士	16期
7	中国	島根県	西ノ島町B&G海洋センター	松新 俊典	センター育成士	14期
8	四国	高知県	四万十町窪川B&G海洋センター	竹内 浩子	AQ	10回
9	北九州	大分県	中津市耶馬溪B&G海洋センター	江本 悦夫	センター育成士	15期
10	南九州	鹿児島県	長島町B&G海洋センター	竹之内逸郎	センター育成士	8期
11	四国	香川県	B&G高松海洋クラブ	小野澤秀典	—	—
12	北九州	福岡県	B&G福岡ジュニアヨット海洋クラブ	河内 孝明	—	—



◆B&G指導員 シルバー褒賞 16名

No.	ブロック	道府県	センター名	氏名	資格	取得年度 期・回
1	北海道	北海道	砂川市B&G海洋センター	野田 勉	センター育成士	19期
2	東北	山形県	舟形町B&G海洋センター	浅沼 勇	AD	12回
3	東北	岩手県	洋野町種市B&G海洋センター	城内 勉	特殊育成士	1993年度
4	関東	茨城県	五霞町B&G海洋センター	菊地 薫	AD	12回
5	北陸	新潟県	新潟市味方B&G海洋センター	前山 智	AQ	16回
6	北陸	福井県	大野市B&G海洋センター	小嶋ちづる	AQ	5回
7	中部	愛知県	豊川市小坂井B&G海洋センター	永井 祥也	AQ	6回
8	近畿	滋賀県	長浜市浅井B&G海洋センター	伏木 文秀	AD	3回
9	中国	岡山県	矢掛町B&G海洋センター	妹尾 茂樹	センター育成士	35期
10	中国	広島県	府中市B&G海洋センター	大越 利夫	AD	2回
11	四国	香川県	高松市国分寺B&G海洋センター	高橋 正光	CE	1回
12	北九州	福岡県	みやま市瀬高B&G海洋センター	山田 利長	AQ	8回
13	南九州	鹿児島県	日置市東市来B&G海洋センター	片野由美子	AQ	13回
クラブ	関東	群馬県	B&G吉井海洋クラブ	横田 仁	インストラクター・リーダー	1988年度
クラブ	中部	静岡県	B&G御前崎海洋クラブ	植田 繁	インストラクター・リーダー	1981年度
クラブ	四国	愛媛県	B&G新居浜海洋クラブ	本田 龍朗	—	—



◆指導者会褒賞 3指導者会

No.	ブロック	道府県	代表者名	組織名
1	北海道	北海道	長田 雅史	小平町B&G海洋センター指導者会
2	東北	青森県	水上 知剛	弘前B&G海洋センター指導者会
3	四国	香川県	植田 浩治	B&G三木海洋クラブ指導者会



次回のご案内

第16回「B&G全国サミット」

第20回「B&G全国教育長会議」

B&G財団では、会議を通じて、市長村長様、教育長様とのネットワークを更に深め、連帯、協力を密にし、地域住民の皆様の健康づくりに力を注いでいきたいと考えております。

第16回「B&G全国サミット」

日時：2024年 1月23日(火)

場所：東京都内

対象：地域海洋センター所在市町村の
市町村長様、教育長様

第20回「B&G全国教育長会議」

日時：2023年11月 8日(水)

場所：東京都内

対象：ブロック連絡協議会幹事教育長様、
道府県連絡協議会が推薦する教育長様、
地域海洋センター所在市町村の教育長様、他

— 皆様のご参加をお待ちしております —



B&G は、時代の変化や地域のニーズに対応し
笑顔と元気を届ける新しい取組みを応援しています



第15回「B&G全国サミット」／第19回「B&G全国教育長会議」／
第5回「B&G全国指導者会記念総会」2022年度報告書

発行日 2023年3月27日 1,300部

編集・制作 公益財団法人 ブルーシー・アンド・グリーンランド財団事業部
〒105-8480 東京都港区虎ノ門3-4-10 虎ノ門35森ビル9F
電話 03-6402-5310 (代) FAX 03-6402-5315
E-mail : center@bgf.or.jp <https://www.bgf.or.jp/>